

県営経営体育成基盤整備事業

土地改良事業計画書（第2回変更）

（区画整理）

県名	岩手	県
地区名	小猪	岡
所在地	一関	市
事業主体	岩手	県

# 土地改良事業計画書

## 目 次

第1章	目的	1
第2章	地域及び地積	2
第1節	地域	2
第2節	地積	2
第3章	現況	3
第1節	気象及び海象	3
1.	一般気象	3
2.	特殊気象	4
3.	海象	4
第2節	土地状況	5
1.	地形、土壤及び侵食の程度	5
2.	土地分類	7
3.	土地利用の状況	8
4.	土地所有の状況	9
第3節	水利状況	10
1.	用水状況	10
2.	排水状況	16
3.	河川状況	20
第4節	道路概況	21
1.	道路概況	21
2.	主要道路一覧表	22
第5節	地域農業の概況	24
1.	産業別就業人口	24
2.	経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数	25
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	26
4.	主要作物作付状況	27
5.	農業の動向	28
第6節	地域環境の概況	28
第4章	一般計画	29
第1節	事業計画の要旨	29
1.	要旨	29
2.	事業別面積	29

第2節	営農計画及び土地利用計画	30
1.	営農計画の概要	30
2.	土地利用区分	30
3.	作付方式	31
4.	生産計画	32
5.	労働改善計画	33
6.	級地別土地利用区分	34
7.	土地配分計画	34
第3節	用水計画	35
1.	計画基準年	35
2.	計画かんがい方式	35
3.	計画用水系統	35
4.	計画用水量	37
5.	水源計画	39
第4節	排水計画	42
1.	計画基準雨量	42
2.	計画排水方式	42
3.	計画排水系統	42
4.	計画排水量	44
5.	排水対策	45
6.	湛水検討	46
第5節	道路計画	47
1.	道路及び索道	47
2.	路線配置図	47
第6節	農用地造成計画	49
1.	農用地造成計画	49
2.	土壤改良	49
第7節	洪水調節計画	50
1.	計画基準雨量	50
2.	計画洪水量及び調節量	50
3.	貯水池	50
4.	洪水調節検討	51
5.	管理計画	51

第 8 節	干拓計画	51	第 7 節	農用地整備施設	66
第 9 節	農用地整備計画	52		1. 区画整理	66
	1. 区画整理	52		2. 暗渠排水	67
	2. 堤体補強	54		3. 客土	67
	3. 客土	55		4. 除礫	67
	4. 農地保全	55		5. 農地保全	68
第 10 節	老朽ため池改修計画	56	第 8 節	老朽ため池改修施設	69
	1. 洪水吐改修計画	56		1. 貯水池	69
	2. 堤体補強計画	56		2. 堤体補強施設	69
	3. 取水施設改修計画	56	第 6 章	附帶工事計画	70
第 5 章	主要工事計画	57	第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	70
第 1 節	用水施設	57	第 8 章	環境との調和への配慮	70
	1. 貯水池	57	第 9 章	換地計画の概要	71
	2. 頭首工	58	第 1 節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	71
	3. 揚水機	58	第 2 節	換地区の設定	71
	4. 用水路	59		1. 換地区の名称、所在、面積	71
	5. その他かんがい施設	59		2. 換地区を設定する理由	71
第 2 節	排水施設	60	第 3 節	換地計画樹立の基本方針	72
	1. 排水水門	60		1. 従前の土地の地積の基準	72
	2. 排水機	60		2. 用途別予定地積	73
	3. 排水路	61		3. 農用地集団化の方針	74
	4. その他排水施設	61		4. 非農用地の換地方法	74
第 3 節	道路及び索道	62	第 4 節	土地の評価及び清算の方法	75
	1. 道路	62		1. 評価の方法	75
	2. 索道	62		2. 清算の方法	75
第 4 節	農用地造成	63	第 5 節	換地計画樹立の年度計画	75
	1. 農用地造成	63	第 6 節	換地処分の時期の関する特則	75
	2. 土壌改良	64	第 10 章	事業費の総額及び内訳	76
第 5 節	洪水調節施設	65	第 11 章	効用	76
	1. 貯水池	65	第 12 章	関連する事業	77
	2. 頭首工及び導水路	65	第 13 章	現況・計画図面	78
第 6 節	干拓施設	65		1. 位置図	78
	1. 堤防	65		2. 現況計画平面図	78
	2. 潮止め	65		3. 土地利用計画図	78
	3. 付属施設	65		4. 主要構造図	78
	4. 埋立	65			

# 第1章　　目　　的

上段：変更後  
下段：変更前

〃

本計画地域は、岩手県一関市の中心部より西方約20kmの中山間地域に位置しており、地区内を南北に流れる一級河川小猪岡川とその支流の準用河川・普通河川沿いに広がる水田地帯である。

本地区の農地は、一部の10a区画を除き、大半は未整備で不整形の小区画であり、さらに農道が接しておらず田越しに通作しているか、または農道が狭小であり、農業機械の通行に支障をきたしている。

また、水路は用排兼用の土水路で、断面が狭小で水路底も浅いため、十分な排水機能が果たせず、農業機械の作業効率の低下を来たすとともに、乾田化による高収益作物の導入が困難な状況にある。

このような地区の問題を解消するため、農業基盤を整備し、併せて、担い手への農地集積・集約化を促進し、地域農業の発展に資するものである。

## 第2章 地域及び地積

### 第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
区画整理	岩手県一関市巣美町地内

上段：変更後

下段：変更前

### 第2節 地積

(令和5年11月現在)

(平成27年8月現在) (第2表)

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畠 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
区画整理	一関市	84.9 103.5	0.9 1.2	0.1 3.6	0.2 0.4	7.0 8.6	93.1 117.3	
	計	84.9 103.5	0.9 1.2	0.1 3.6	0.2 0.4	7.0 8.6	93.1 117.3	
	計							
合計		84.9 103.5	0.9 1.2	0.1 3.6	0.2 0.4	7.0 8.6	93.1 117.3	

### 第3章 現況

上段：変更後  
下段：変更前

#### 第1節 気象及び海象

##### 1. 一般気象

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成26年3月版)

(第3表-1)

観測所名	一関地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	M34～H24年	5月～8月	9月～4月		
平均気温(℃)		20.5	7.3	11.7	
降水量	平均(mm)	562.8	652.4	1,215.2	
	基準年(mm)	—	—	—	
降水日数	平均(日)	45	80	125	
	基準年(日)	—	—	—	
根雪期間	月日～月日	日間			
無霜期間	4月29日～11月2日	188日間			
最多風向	NNW	最大風速 (風向)	10 m/s	最多風向発生時期 月～月	最大風速発生年月日

上段：変更後  
下段：変更前  
(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成26年3月版)  
(第3表-2)

## 2. 特殊気象

（岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成26年3月版）

祭時地域雨量観測所	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
	数	年 月 日	発 生 確 率													
観測期間	量			量			量			量			量			
M31年～H24年																
最大日雨量 (mm)	300.0	S63. 8. 29	1 /244	219.0	S62. 8. 17	1 /28	214.0	H2. 9. 20	1 /24	189.0	H1. 8. 27	1 /12	178.0	H6. 9. 30	1 /9	
最大時間雨量 (mm)	75.5	H24. 10. 1	1 /202	61.5	H24. 9. 12	1 /52	55.0	S63. 8. 29	1 /27	49.0	H19. 6. 6	1 /15	19.0	H2. 10. 17	1 /15	
最大4時間雨量 (mm)	167.5	H24. 10. 1	1 /118	154.5	H24. 10. 1	1 /70	152.0	S63. 8. 29	1 /63	151.5	H24. 10. 1	1 /62	134.0	S63. 8. 29	1 /30	
最大3日連続雨量 (mm)	422.0	S63. 8. 30	1 /373	422.0	S63. 8. 29	1 /373	367.0	S63. 8. 31	1 /123	287.0	S44. 7. 30	1 /23	277.0	H1. 8. 28	1 /19	
最大連続旱天日数 (日)	31	S39. 7. 2	1 /-	25	S60. 7. 23	1 /45	25	S52. 7. 14	1 /45	23	H15. 6. 2	1 /18	23	S46. 7. 19	1 /18	

## 3. 海 象

該当なし

## 第2節 土地状況

### 1. 地形、土壤及び侵食の程度

上段：変更後

下段：変更前

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考
		1/1,000 以下	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～8°	8°～15°			15° ～20°	20° 以上	計	最高	最低	
区画整理	面積(ha)		13.6 21.6	71.3 81.9			84.9 103.5	0.9 1.2							0.9 1.2	〃 320	〃 165	
	比率(%)		16 21	84 79			〃 100	〃 100							〃 100			
合計	面積(ha)																	
	比率(%)		13.6 20.9	71.3 79.1			84.9 100.0	0.9 100.0							0.9 100.0			

上段：変更後

下段：変更前

(第4表-1-2)

[土壤]

土壤 統 (区) 名	土壤統(区)区分一覧表										面積(ha)		備考			
	土壤断面										堆 積 様 式	母 材	事業名			
	色	腐 植	礫 層	酸 化 沈 殿 物	土性			泥炭層 黒泥層 及びグライ層	区 画 整 理	計						
					表土	下層土										
北寄木統 強グライ土壤 強粘土還元型 D-30	〃 2.5Y3/2 7.5Y6/1	〃 なし なし	〃 なし	あり	〃 LiC	〃 LiC		〃 作土直下グライ層	〃 水積	77.6 96.0		77.6 96.0				
宇別統 黒色土壤 粘土火山腐食型 H-70	〃 10YR2/2 10YR1/1	〃 含む 含む	〃 なし	あり	〃 LiC	〃 LiC		〃 なし	〃 風積	8.2 8.7		8.2 8.7				
計										85.8 104.7		85.8 104.7				

〃  
該当なし

(第4表-1-3)

事業 名	区分	土壤の流亡率				年平均流亡速度				ガリ浸食の程度		備考
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
面積(ha)												
	比率(%)											

## 2. 土地分類

上段：変更後  
下段：変更前

〃

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農用地造成										計 (ha)	備考
	一級地 (ha)	二級地				三級地				四級地 30°以上 (ha)		
※ (ha)	3° ～8° (ha)	8° ～ (ha)	12° ～15° (ha)	※ (ha)	15° ～20° (ha)	20° ～25° (ha)	25° ～30° (ha)	30° 以上 (ha)				
計												

〃

(第4表-2-2)

級地別 市町村名	干拓					備考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
計						

## 3. 土地利用の状況

上段：変更後  
 下段：変更前  
 (令和5年11月現在)  
 (平成27年 8月現在) (第4表-3)

事業名	市町村名	耕 地						山 林		採 草 放 牧 地	原 野	そ の 他	計	備 考
		水 田 (ha)	普 通 畠 (ha)	牧 草 畠 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	そ 樹 の 園 他 の 地 (ha)	用 材 林 (ha)	薪 炭 林 (ha)					
区 画 整 理	一関市	84.9 103.5	0.9 1.2						0.2 0.4		0.1 3.6	7.0 8.6	93.1 117.3	
合 計		84.9 103.5	0.9 1.2						0.2 0.4		0.1 3.6	7.0 8.6	93.1 117.3	

## 4. 土地所有の状況

上段：変更後

下段：変更前

(令和5年11月現在)

(平成27年 8月現在) (第4表-4)

事業名	区分	個人有	市有	県有	国有			計	備考
区画整理	面 積(ha)	87.0 110.4	6.0 6.9	〃 -	0.0 0.0			93.1 117.3	
	受益者数(人)	23 65						23 65	
	筆 数(筆)	549 639	257 265	〃 -	4 1			810 905	
	権利関係								
	備考 (関係戸数)	23 65						23 65	
合計	面 積(ha)								
	受益者数(人)								
	筆 数(筆)								
	権利関係								
	備考 (関係戸数)								
	面 積(ha)	87.0 110.4	6.0 6.9	〃 -	0.0 0.0			93.1 117.3	
	受益者数(人)	23 65						23 65	
	筆 数(筆)	549 639	257 265	〃 -	4 1			810 905	
	権利関係								
	備考 (関係戸数)	23 65						23 65	

上段：変更後  
下段：変更前

### 第3節 水利状況

#### 1. 用水状況

本地区の平場については、一級河川小猪岡川、準用河川小猪岡川、普通河川蛇沢川、高畠川、小猪岡平沢川、帶根沢川に設置された頭首工及び揚水機から、沢沿いについては、溪流水やため池から取水している。  
*〃*

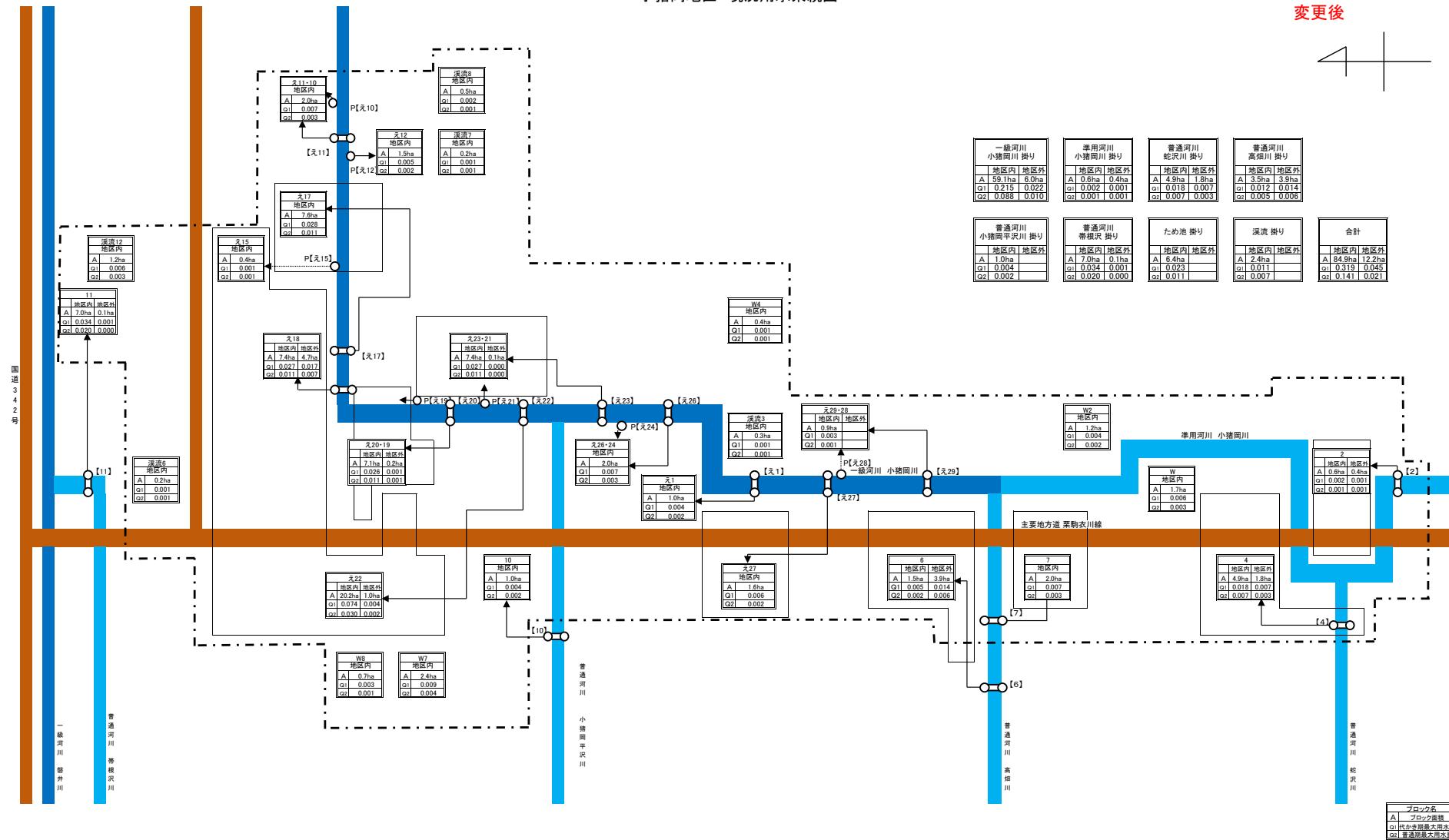
また、水路は土水路が多く、漏水が生じており、加えて法面の崩落等が見られ、用水供給が不安定になっているとともに、水管理及び維持管理等に多大な労力と経費を費やしている状況にある。

##### （1）用水系統

次頁参照

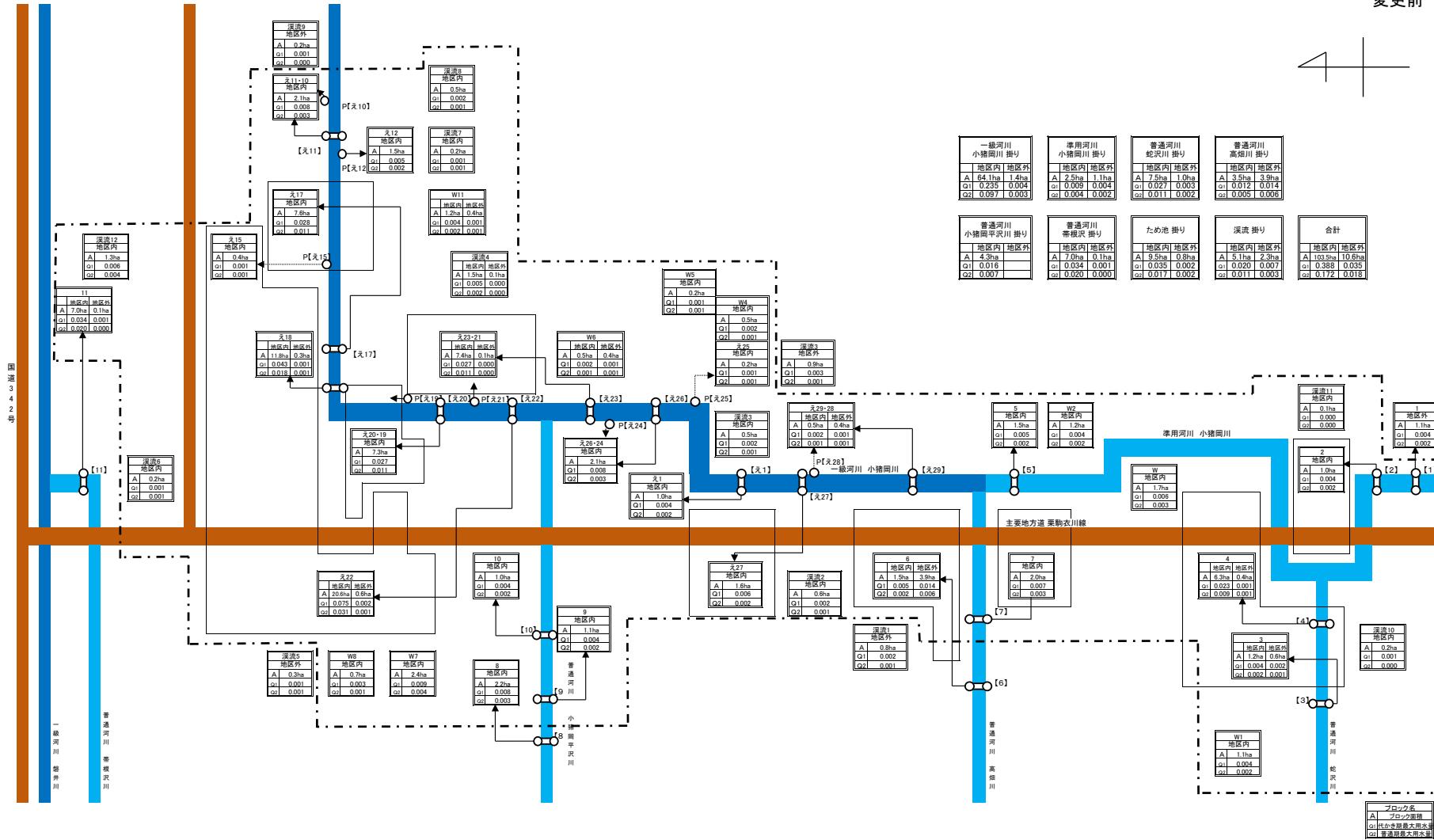
## 小猪岡地区 現況用水系統図

## 変更後



## 小猪岡地区 現況用水系統図

## 变更前



上段：変更後

## (2) 用水施設

下段：変更前

## (ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延取水量	備考
		500ha以上		500~100ha		100ha未満				ha	箇所	ha	箇所		
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m <sup>3</sup> /s		
区画整理	貯水池	〃	〃	〃	〃	5	6.4	5	6.4	〃	〃	〃	〃	0.023	
	井堰	〃	〃	〃	〃	16	72.6	16	72.6	〃	〃	15	0.444	0.460	
	自然取水口	〃	〃	〃	〃	5	2.4	5	2.4	〃	〃	〃	〃	0.011	
	揚水機	〃	〃	〃	〃	7	3.5	7	3.5	〃	〃	4	0.083	0.083	
	その他	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
	計	—	—	—	—	33	84.9	33	84.9	〃	〃	19	0.527	0.577	
合計		〃	〃	〃	〃	33	84.9	33	84.9	〃	〃	19	0.527	0.577	
		—	—	—	—	46	103.5	46	103.5	1	0.016	24	0.556	0.627	
		—	—	—	—	46	103.5	46	103.5	1	0.016	24	0.556	0.627	

上段：変更後

下段：変更前

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備 考
区 画 整 理	貯 水 池							
	井 堰	— 2	— (2.0)	— 木製	— 堤高1.5m/堤長15.0m	— S10～40年代	— 老朽化のため	— 頭首工【5】，【え29】
	自然取水口							
	揚 水 機	〃 1	〃 (1.5)	〃 渦巻型	〃 3インチ-1台	〃 S40年代	〃 老朽化のため	〃 揚水機【え12】
	用 水 路	15 18	84.9 103.5	〃 土水路	土水路 L=27, 150m 土水路 L=29, 300m	〃 S30～40年代	〃 区画整理	
	そ の 他							
	計		84.9 103.5					
合 计			84.9 103.5					

上段：変更後  
下段：変更前

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

〃  
該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m <sup>3</sup> )	不足水量				平均減産量 (t)	平均 維持管理費 (千円)	備考			
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量							
				平均(m <sup>3</sup> /s)	基準年(m <sup>3</sup> /s)	平均(m <sup>3</sup> /s)	基準年(m <sup>3</sup> /s)						
	計												
	合計												

(イ) その他の被害状況

〃  
該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温(℃)		被害量 (t)	備考
			最高	最低		

(4) ため池決壊の場合の想定被害状

<sup>〃</sup>  
該当なし

上段：変更後  
下段：変更前

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積(ha)				想定被害額(千円)					人命(人)	備考	
	水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計		
計												
合計												

上段：変更後  
下段：変更前

## 2. 排水状況

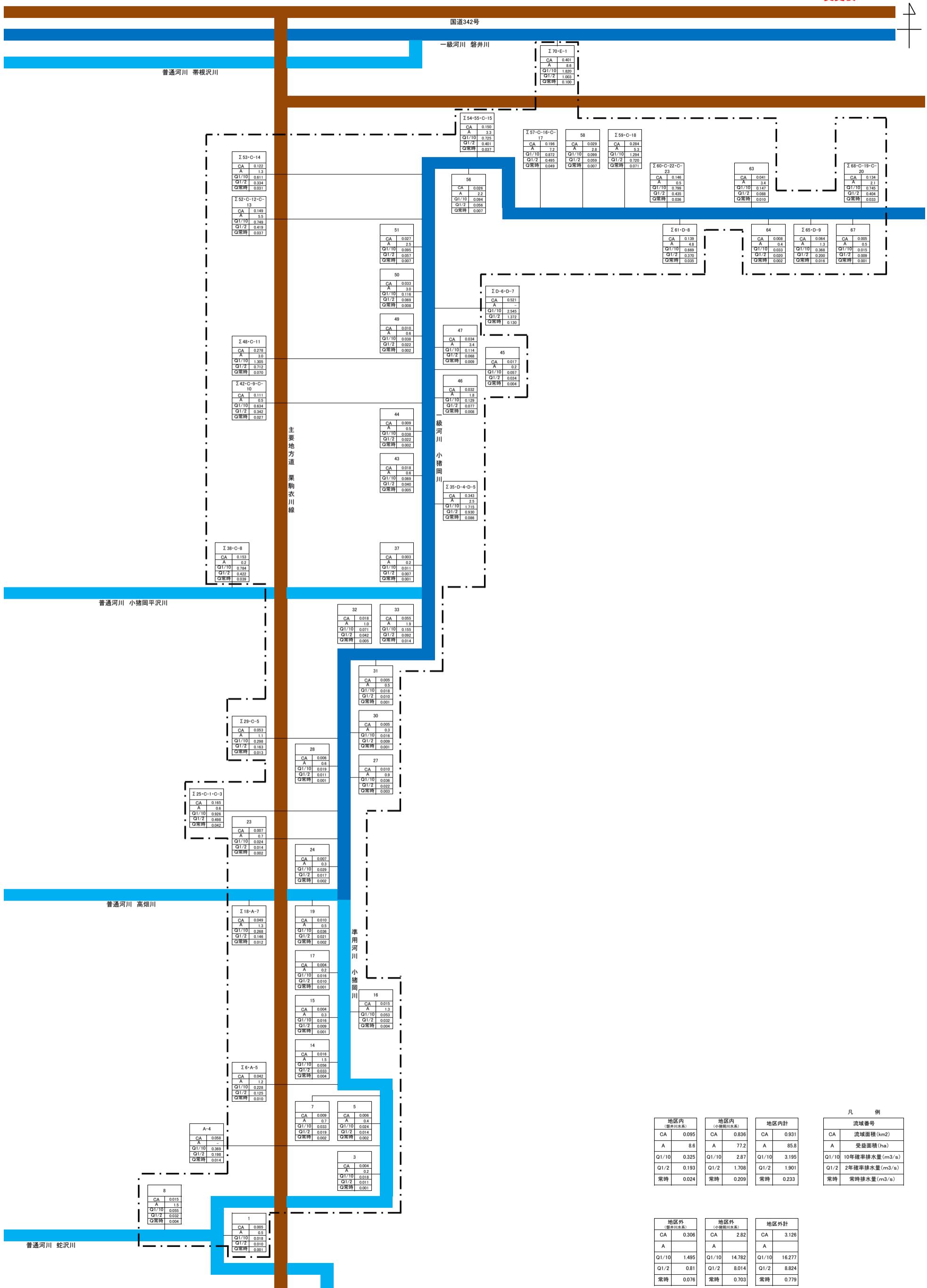
本地区では、山間部からの排水が地区内排水路に流入しているが、大雨の際は地区内水路の断面不足により越水する恐れがあり、農作物への被害が懸念される。

また、水路深さが浅く充分な排水機能を果たしておらず、農業機械の作業効率の低下を来たしているとともに、土水路が大半のため水管理及び維持管理にも多大な労力と経費を費やしている。

(1) 排水系統  
次頁参照

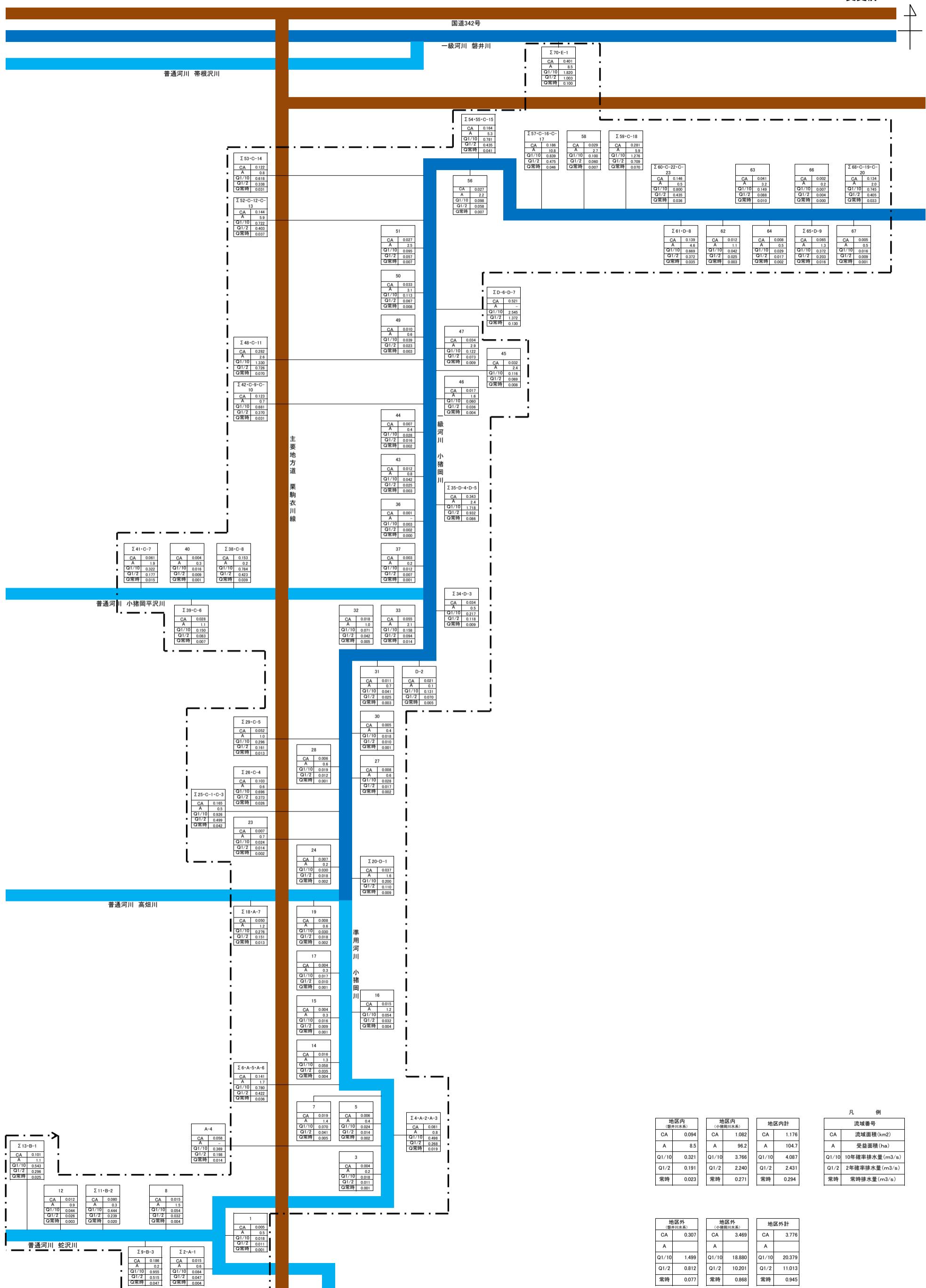
小猪岡地区現況排水系統図

変更後



小猪岡地区現況排水系統図

変更前



## (2) 排水施設

上段：変更後  
下段：変更前

## (ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	施設名	排水面積						計	排水慣行 (m <sup>3</sup> /s)	現況排水能力 (m <sup>3</sup> /s)	備考				
		500ha以上		500～100ha		100ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
区画整理	自然	排水路				〃	405.7	〃	405.7	19.472					
						2	495.2	2	495.2	24.466					
	機械	排水機													
		水門及び排水機													
		排水路及び排水機													
		計				〃	405.7	〃	405.7						
						2	495.2	2	495.2						
	合計					〃	405.7	〃	405.7						
						2	495.2	2	495.2						

## (イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備 考
	施設名	箇所数							
区画整理	自然	排水路	〃	85.8	〃	L=27, 150m	L=29, 300m	〃	区画整理に伴う改修
		水門	—	104.7	土水路				
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
		計	〃						
			—						
	合計		〃						
			—						

上段：変更後  
下段：変更前

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛水状況				乾湿状況 (ha)				平均減産量 (t)	平均維持管理費 (千円)	備考		
				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m <sup>3</sup> )	田		畑		その他				
								乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均													
			基準年													
			平均													
			基準年													
			平均													
			基準年													
			平均													
			基準年													
			平均													
			基準年													
	計		平均													
			基準年													
合計			平均													

## 3. 河川の状況

上段：変更後  
下段：変更前

〃  
該当なし

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾 配	断 面	安全洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	既往最大洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考

## (2) 洪水に関する被害状況

〃  
該当なし

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (千円)	農用施設 (千円)	作物 (千円)	公共施設 (千円)	備 考
過去の最大被害額					
平均被害額					

上段：変更後  
下段：変更前

## 第4節 道路概況

### 1. 道路概況

本地区は、主要地方道栗駒・衣川線(2車線・AS舗装)が中央を南北に走っており、これに、1級、2級、その他市道及び林道が接続している。

ほ場内にある農道は、土砂利道で幅員も2.0m～3.0mと狭く、路面状態が軟弱であり、また、大半のほ場は農道が接しておらず田越しに通作しており、農業機械の通行、作業等に支障をきたしている状況である。

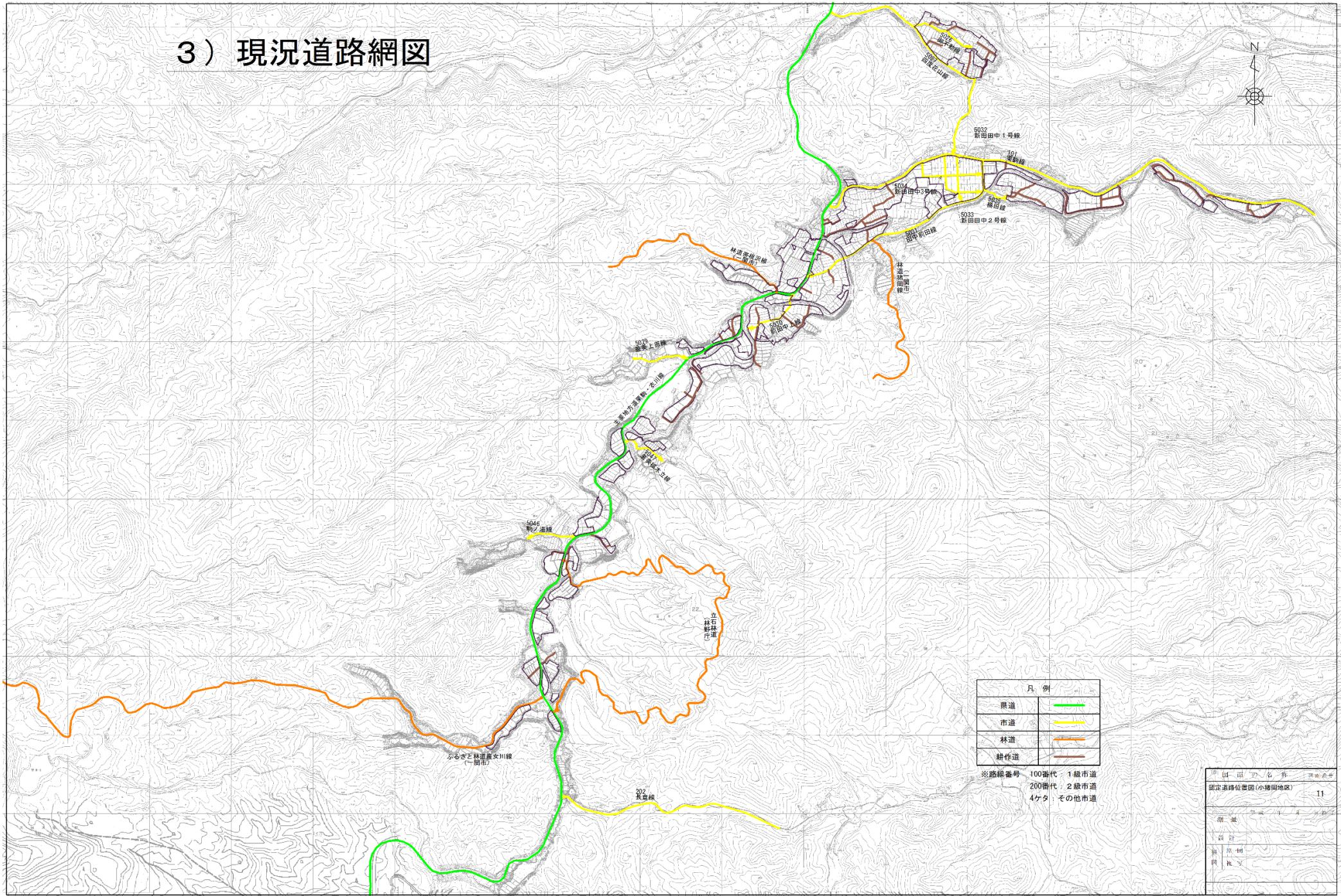
上段：変更後  
下段：変更前

2) 主要道路一覧表

No.	路線名	管理区分別	延長(m)	幅員(m)		構造	改修の要否	備考(道路番号)
				全幅	有効			
1	1級市道：栗駒線	市	1,730	8.0	6.5	AS	否	1-0101
2	2級市道：長倉線	〃	—	7.5	6.5	AS	〃	1-0202
3	その他市道：御不動線	〃	381	3.3	2.7	AS	要	1-5026
4	その他市道：四度花山線	〃	520	5.5	4.5	AS	否	1-5027
5	その他市道：巖美上原線	〃	336	4.0	3.0	AS	〃	1-5029
6	その他市道：前田中上線	〃	394	3.0	2.5	AS	要	1-5030
7	その他市道：田中前田線	〃	1,425	5.0	4.0	AS	否	1-5031
8	その他市道：新田田中1号線	〃	296		2.5	砂利	要	1-5032
9	その他市道：新田田中2号線	〃	440		3.0	砂利	〃	1-5033
10	その他市道：新田田中3号線	〃	456		2.5	砂利	〃	1-5034
11	その他市道：橋田線	〃	170	5.5	4.5	AS	否	1-5035
12	その他市道：駒ノ湯線	〃	—	3.0	2.0	AS	〃	1-5046
13	その他市道：巖美樋木立線	〃	253	4.0	3.0	AS	〃	1-5047
14	林道(市)：産女川線	〃	1,100	5.0	4.0	AS	〃	
15	林道(市)：帶根沢線	〃	180	4.0	3.0	AS	要	
16	林道(市)：猪岡線	〃	—	4.0	3.0	AS	否	
17	農道：地区内耕作道	〃	6,128		2.0～3.0	土砂道	要	
18	林道(林野庁)：立石林線	国	450		3.0	砂利	否	
19	主要地方道：栗駒・衣川線	県	—			AS	〃	

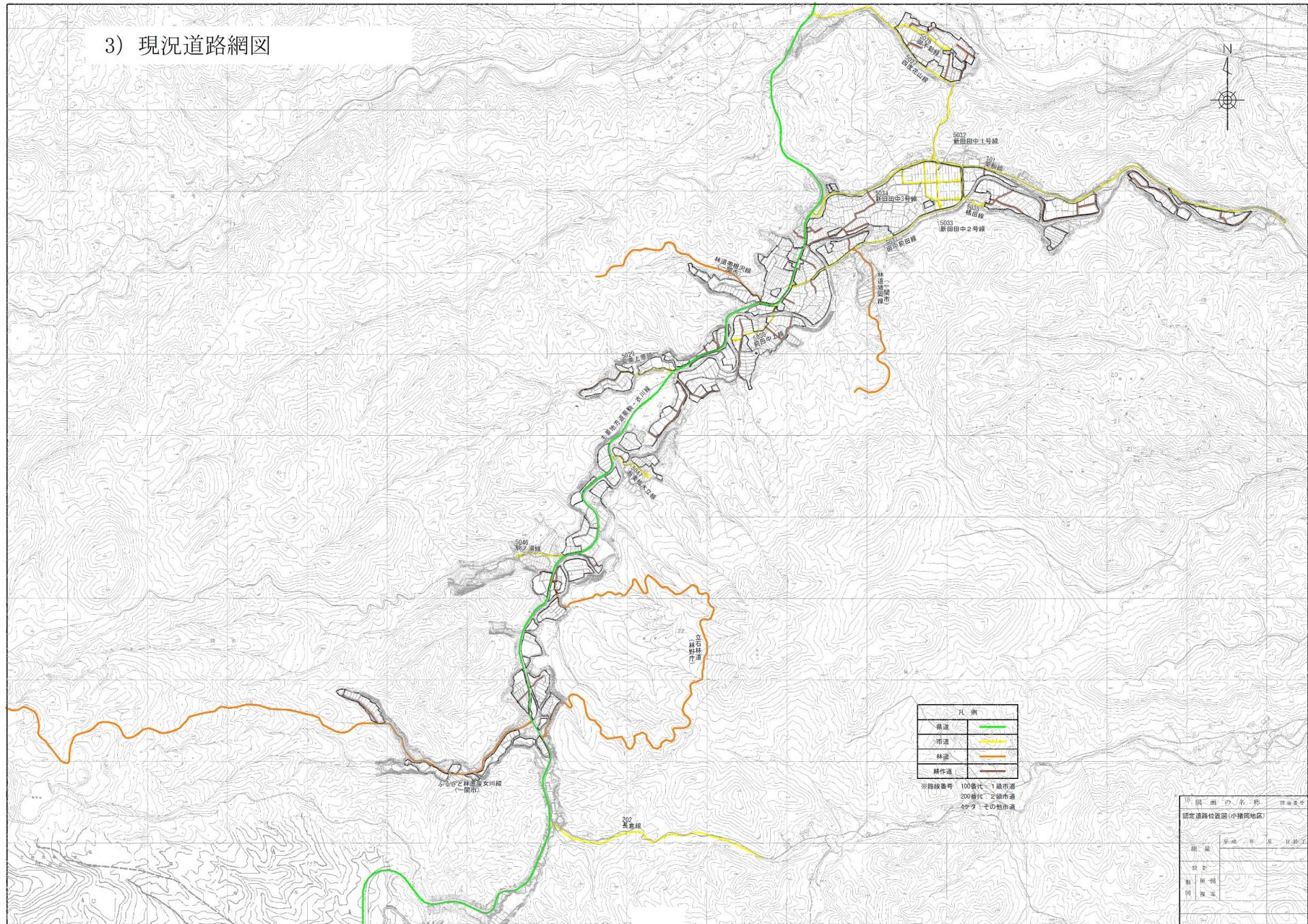
変更後

### 3) 現況道路網図



変更前

3) 現況道路網図



上段：変更後  
下段：変更前

## 第5節 地域農業の概況

### 1. 産業別就業人口

(R2国勢調査)

(平成26年版岩手県統計年鑑) (第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス熱 供給水道業 (人)	運輸 通信業 (人)	卸売小売業 飲食店 (人)	金融 保険業 (人)	不動産業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
〃 一関市	56,355 60,606	6,543 8,976	222 262	20 19	68 72	5,030 5,409	11,473 12,621	168 208	2,935 493	7,254 8,232	811 956	464 383	8,420 8,863	1,700 1,817	11,247 12,295	
計	56,355 60,606	6,543 8,976	222 262	20 19	68 72	5,030 5,409	11,473 12,621	168 208	2,935 493	7,254 8,232	811 956	464 383	8,420 8,863	1,700 1,817	11,247 12,295	
比率 (%)	100% 100%	12% 14%	〃 0%	〃 0%	〃 0%	20% 9%	20% 21%	〃 0%	5% 1%	13% 14%	1% 2%	〃 1%	〃 15%	〃 3%	〃 20%	

上段：変更後  
下段：変更前

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(2020農林業センサス)  
(2010農林業センサス)

(第7表-2)

分 市 町 村 名	農 家 総 戸 数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)												一戸当たり 平均農用地面積 (ha)						耕地の 分散状況		専兼業別 農家数 (戸)		備 考	
		例外規定の適用を受けるもの	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	その他	計	一戸当たり團地数	團地当たり面積(ha)	専業		第一種	第二種		
			～	～	～	～	～	～	～	第一種										第二種	業	業			
〃	8,996	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	3,487	1.50	0.46	0.05	2.01	—	2.01	〃	—	—	—	—	—	—	
一関市	12,838	—	1,794	3,268	1,812	1,000	777	467	224	62	3,434	1.01	0.12	0.03	1.16	0.22	1.38	—	—	—	1,945	961	6,498		
計	8,996	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	3,487	1.50	0.46	0.05	2.01	—	2.01	〃	—	—	—	—	—	—	
比率	100%	〃	14%	25%	14%	8%	6%	4%	2%	0%	39%	75%	23%	2%	100%	—	100%	—	—	—	21%	10%	69%		
											27%	73%	9%	84%	16%	100%	—	—							

上段：変更後  
下段：変更前

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(2020農林業センサス)  
(2010農林業センサス)

(第7表-3)

項目 市町村名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜						備考	
	耕うん機及びトラクター		動力防除機		動力田植機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚			
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)		
一関市	—	—	—	—	—	—	—	—	2,723	128	10,753	766	136,066	11		
計	8,013	6,921	—	—	6,064	5,936	2,576	2,509	4,106	220	11,865	1,352	1,136	4		
100戸当たり 数量 (台、頭)	—	62	—	—	—	—	—	—	30	—	120	—	1,513	—	農家戸数 8,996戸 12,838戸	
利用戸数 割合 (%)	—	54%	—	—	—	—	—	—	1%	—	9%	—	11%	0%		

## 4. 主要作物作付状況

(2020農林業センサス)  
(2010農林業センサス)上段：変更後  
下段：変更前

(第7表-4)

市町村名		〃 一関市				計	平均	作付率 (%)	備考
総耕地面積(ha)		18,100 18,300				18,100 18,300			
区分 作物名		作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)		
田 表 作	〃 水稲	5,431 5,568	5,431 519			5,431 5,568	5,431 519	49 61	单収 (1000本/10a)
	麦類(小麦他)	113 5,568	100 519			113 5,568	100 519	1 61	
	豆類(大豆他)	118 5,568	125 519			118 5,568	125 519	1 61	
	その他	2,584 5,568	— 519			2,584 5,568	— 519	23 61	
	— 小麦等	— 1,224	— 140			— 1,224	— 140	— 13	
小計		8,246 6,792				8,246 6,792		〃 74	
普通 畑 春 夏 作	— 麦類(小麦他)	— 59	— 140			— 59	— 140	— 1	单収 (1000本/10a)
	— 豆類(大豆他)	— 66	— 85			— 66	— 85	— 1	
	〃 野菜類(なす他)	178 208	3,946 4,442			178 208	〃 4,442	〃 2	
	〃 花き類・花木(りんどう他)	54 98	21,898 22,200			54 98	21,898 22,200	0 1	
	〃 牧草	1,416 1,529	2,640 —			1,416 1,529	2,640 —	13 16	
	〃 その他	898 145				898 145		8 2	
	小計	2,546 2,105				2,546 2,105		〃 23	
	〃 果樹類(りんご他)	260 248				260 248		〃 3	
	小計	260 248				260 248		〃 3	
	計	11,052 9,145				11,052 9,145		〃 100	
市町村別 延べ作付率(%)		61 50				61 50			

## 5. 農業の動向

(R2年農林業センサス)

(H22年農林業センサス)

上段：変更後

下段：変更前

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			主 要 家 畜			動 力 農 機 具			その他の 地 域 指 定 等	地 域 指 定 等	備 考	
		B (H17)	A (H22)		B (H17)	A (H22)	作物名	B (H17)	A (H22)	家畜名	B (H17)	A (H22)	農機具名	B (H17)	A (H22)				
変化の 状況 (C年を100 とする指標)	総農家数	88	77	耕地	97	95	水稻	90	78	乳用牛	81	65	耕耘機 トラクター	89	-	〃	農振 S48.3 S45.3	令和2年(2020) A:平成22年 (2010)	
	專業農家数	126	153	田	95	77	野菜類	102	92	肉用牛	76	56	動力田植機	80	-	〃	野菜 S47 S45	平成27年(2015)	
	第1種兼業農家数	83	-	畑	84	68	麦類	115	103	豚	67	73	コンバイン	92	-	〃	山振	B:平成17年 (2005)	
	第2種兼業農家数	81	-	樹園地	93	74	豆類	85	64	採卵鶏	82	68	動力防除機	-	〃	果樹 S47.2 H8	〃	平成22年(2010)	
	農業従事者数	84	68	草地	116	89	小麦	135	109		155	133		106	-	酪農 H28 H5	C:平成12年 (2000)		
	農業従事者数	76	51	-	-	-	花類	73	48										
	農業従事者数	74	63				野菜	149	130										
変化の 理 由	農家数及び農業従事者数は減少している。  総農家数、農業従事者は減少しているものの、農地集積や担い手対策の推進、認定農業者や法人組織育成の取組みが行われており、專業農家が増加している。	〃			農地転用が進み農用地の減少が進んでいる。			水稻は水田畑利用の推進により、近年は横ばいになっている。また、転作農地の有効利用が進んでいる。  水稻は水田畑利用の推進により、近年は横ばいになっている。また、転作農地の有効利用は減少している。			畜産農家が減少している。			農作業の少子化を図るために、大型トラクター、コンバインの導入が進んでいることから農業機械は減少傾向にある。  農作業の省力化を図るために、大型トラクター、コンバインの導入が進んでいる。一方、水稻の作付面積が減少しているため農機具も減少傾向にある。					

## 第6節 地域環境の概況

〃

本地区では、農地や水路に隣接する法面等の草地にはノダイオウ、カワラナデシコの生育が、また農地に隣接するため池にはキンブナ、クロサンショウウオの生息が確認されている。

なお、本地区の磐井川対岸には骨寺村莊園遺跡が所在しており、一関市が策定した『一関本寺の農村計画 保存計画』における景観計画区域には、本地区の一部が含まれている。

## 第4章 一般計画

上段：変更後  
下段：変更前

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要 旨

農地の大区画化、用排水路と農道の整備を実施し、農業生産性の向上をめざす。

また、暗渠排水を施し、耕地の汎用化を促進して、農作業効率の向上を図り、土地の生産性を高める。

環境との調和への配慮として、整備区域内の法面等に生育する希少種の植物は近傍の類似環境へ移植する。また、移植が難しい希少種が生育する区域は現況保存とするなど、生態系に配慮した計画とする。

#### 2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地 利用区分 事業目的	区画整理												計 (ha)	備 考			
	水 田 (ha)	普通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	その 他 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	小 計 (ha)	
区画整理	73.4 94.7	1.1 1.9	〃 -	〃 -	18.6 20.7	93.1 117.3										93.1 117.3	
計	73.4 94.7	1.1 1.9	〃 -	〃 -	18.6 20.7	93.1 117.3										93.1 117.3	

上段：変更後  
下段：変更前

## 第2節 営農計画及び土地利用計画

### 1. 営農計画の概要

本事業により農地の集団化、ほ場の汎用化、及び大型機械の導入をめざした土地基盤の整備を実施し、土地の高度利用と農業経営の近代化を図る。

また、規模拡大志向農家を中心に農業生産法人を組織し、水田利用は水稻を中心に、主食用米に加えて飼料用米等の栽培を行い、ピーマンやキャベツ等の新規園芸品目にも取り組み、農業経営の安定化を図る。

### 2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
区画整理	現況	84.9 103.5	0.9 1.2	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	85.8 104.7	0.1 3.6	0.2 0.4	7.0 8.6	93.1 117.3	
	計画	73.4 94.7	1.1 1.9	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	74.5 96.6	〃 -	〃 -	18.6 20.7	93.1 117.3	
計	現況												
	計画												
計	現況	84.9 103.5	0.9 1.2	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	85.8 104.7	0.1 3.6	0.2 0.4	7.0 8.6	93.1 117.3	
	計画	73.4 94.7	1.1 1.9	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	74.5 96.6	〃 -	〃 -	18.6 20.7	93.1 117.3	

## 变更前後同

### 3. 作付方式

(第9表-2)

上段：変更後  
下段：変更前

(現況本地率 水田:91.1% 畑:92.5%)

〃 〃

95.8% 〃

(計画本地率 水田:95.3% 畑:92.5%)

(第9表-3)

4. 生産計画

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)			単位面積当たり収穫量(kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり 収量増加		
区画整理	水田	水稻	46.9 57.2	41.8 53.5	△ 5.1 △ 3.7	〃 60.0	58.6 58.1	521 529	562 572	41 43	244.4 302.6	235.0 306.0	△ 9.4 3.4	△ 26.6 △ 19.6	17.2 23.0		
		飼料用米	2.3 2.7	13.7 17.7	11.4 15.0	2.9 2.8	〃 19.2	521 529	562 572	41 43	12.0 14.3	77.0 101.3	65.0 87.0	59.4 79.4	5.6 7.6		
		牧草	22.1 27.0	5.7 7.4	△ 16.4 △ 19.6	〃 28.3	8.0 8.1	1,200 1,207	1,753 1,763	553 556	265.2 325.9	99.9 130.5	△ 165.3 △ 195.4	△ 196.8 △ 236.6	31.5 41.1		
		WCS	2.0 2.5	7.5 9.6	5.5 7.1	〃 2.6	〃 10.5	〃 2,400	〃 2,400	〃 -	48.0 60.0	180.0 230.4	132.0 170.4	132.0 170.4	〃 -		
		なす	0.2 0.3	0.2 0.3	〃 -	〃 0.3	〃 0.3	3,672 4,443	3,672 4,443	〃 -	7.3 13.3	7.3 13.3	〃 -	〃 -	〃 -		
		ピーマン	〃 -	〃 0.2	〃 0.2	〃 -	0.3 0.2	5,810 5,708	5,810 5,708	〃 -	11.6 11.4	11.6 11.4	11.6 11.4	11.6 11.4	〃 -		
		きやべつ	〃 -	0.2 0.3	0.2 0.3	〃 -	〃 0.3	3,626 2,479	3,626 2,479	〃 -	7.3 7.4	7.3 7.4	7.3 7.4	7.3 7.4	〃 -		
		りんどう	0.7 0.9	1.0 1.3	0.3 0.4	0.9 1.0	〃 1.4	21,598 12,000	21,598 12,000	〃 -	151.2 108.0	216.0 156.0	64.8 48.0	64.8 48.0	〃 -	(本)	
		自己保全管理 調整水田	3.1 3.7	〃 -	△ 3.1 △ 3.7	4.0 3.9	〃 -										
		小計	77.3 94.3	70.3 90.3	△ 7.0 △ 4.0	99.0 98.9	98.6 98.1										
普通 畑	春夏秋作	ブルーベリー	〃 0.2	0.2 0.3	— 0.1	0.2 0.2	0.2 0.3	〃 500	〃 500	〃 -	1.0 1.0	1.0 1.5	— 0.5	— 0.5	— —	〃 —	
		牧草	0.6 0.9	0.8 1.5	0.2 0.6	0.8 0.9	1.1 1.6	1,200 1,207	1,200 1,762	— 555	7.2 10.9	9.6 26.4	2.4 15.6	2.4 7.2	2.4 8.3	— —	
		小計	0.8 1.1	1.0 1.8	0.2 0.7	1.0 1.1	1.4 1.9										
合 計			78.1 95.4	71.3 92.1	△ 6.8 △ 3.3	100.0 100.0	100.0 100.0										

※作付面積は本地面積で整理

上段：変更後  
下段：変更前

5. 労働改善計画

95.8%  
(計画本地率 水田:95.3%)

(第9表-4)

事業名	土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備 考
				区分	現 況	計 画	増 減	
区画整理	水田	水稲 (飼料用米含)	7.0 9.1	人 力	〃	25.8	△ 17.8	小区画 〃 小区画湿田 → 大区画乾田(No. 1-1)
				機械力	43.6	32.3	△ 11.3	
			48.5 62.1	人 力	〃	21.1	△ 8.7	〃 (No. 1-3) 小区画湿田 → 大区画乾田(No. 2)
				機械力	29.8	28.7	△ 1.1	
		WCS	7.5 9.6	人 力	〃	5.8	△ 37.8	〃 (No. 11) 小区画湿田 → 大区画乾田
				機械力	43.6	6.5	△ 37.1	
		牧草	5.7 7.4	人 力	〃	4.5	△ 25.3	〃 (No. 104) 小区画湿田 → 大区画乾田(No. 80)
				機械力	29.8	8.2	△ 21.6	
				人 力	〃	4.1	△ 25.1	
				機械力	29.2	5.4	△ 23.8	
				人 力	〃	3.0	△ 16.3	
				機械力	19.3	5.7	△ 13.6	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	
				人 力	〃	4.7	△ 7.6	
				機械力	12.3	9.6	△ 2.7	
				人 力	〃	4.7	△ 0.3	
				機械力	5.0	4.0	△ 1.0	

上段：変更後  
下段：変更前

6. 級地別土地利用区分

該当なし

(第9表-5)

土地利用区分	区分 級地名	農用地造成 (ha)					干拓 (ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草地)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
その他												
計												

7. 土地配分計画

該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)									備考	
		田	輪換耕地	畑					計			
				普通畑	牧草地	樹園地						
増反		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
入植		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		

上段：変更後  
下段：変更前

### 第3節 用水計画

#### 1. 計画基準年

平成12年

(かんがい期有効雨量、かんがい期総干天日数、かんがい期連續干天日数とも1/10確率年に近い年)

#### 2. 計画かんがい方式

水田(水稻) 滞水かんがい方式

かんがい期間 5月1日～8月31日

123日間

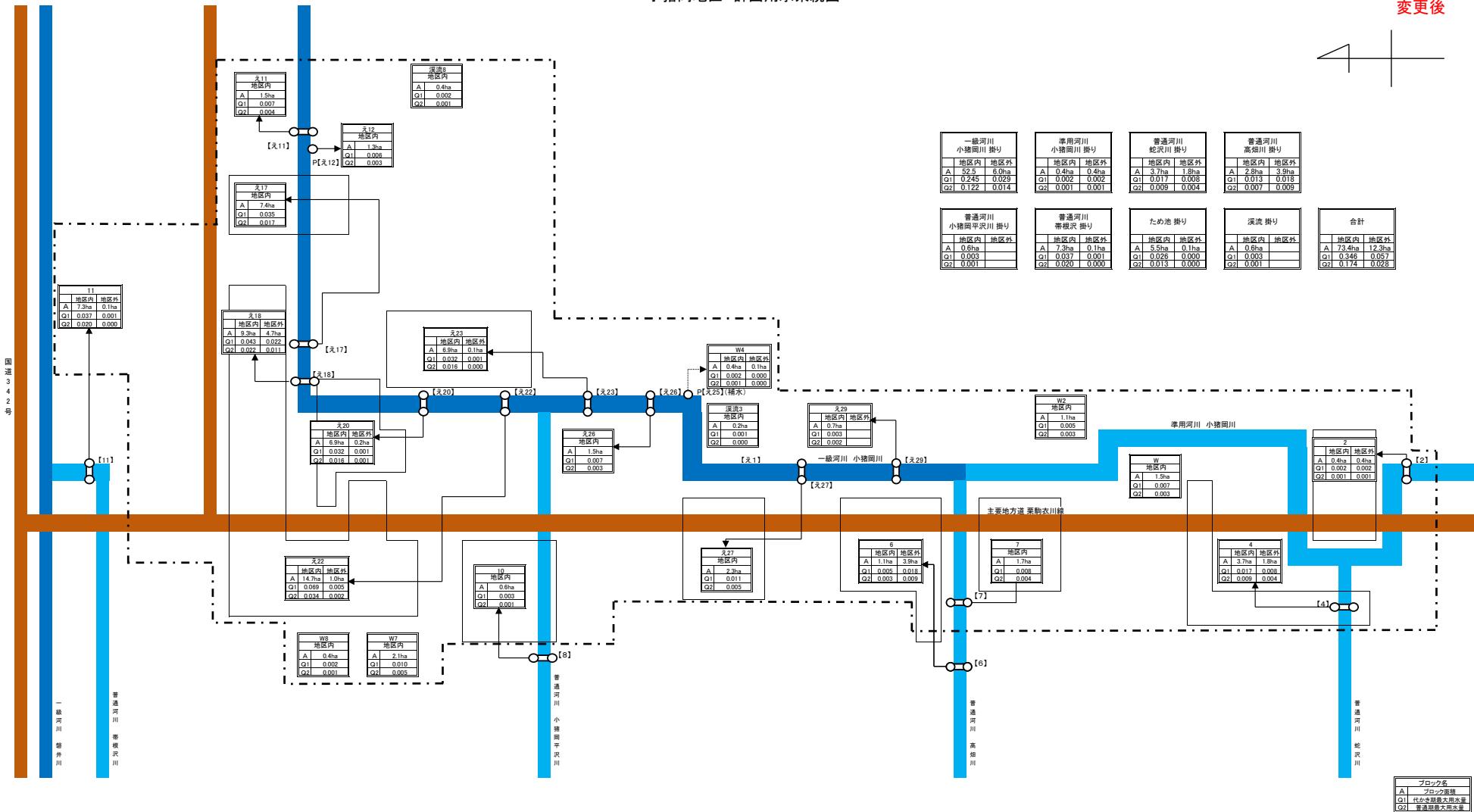
(代掻き期間 5月1日～5月6日 6日間)

#### 3. 計画用水系統

次頁参照

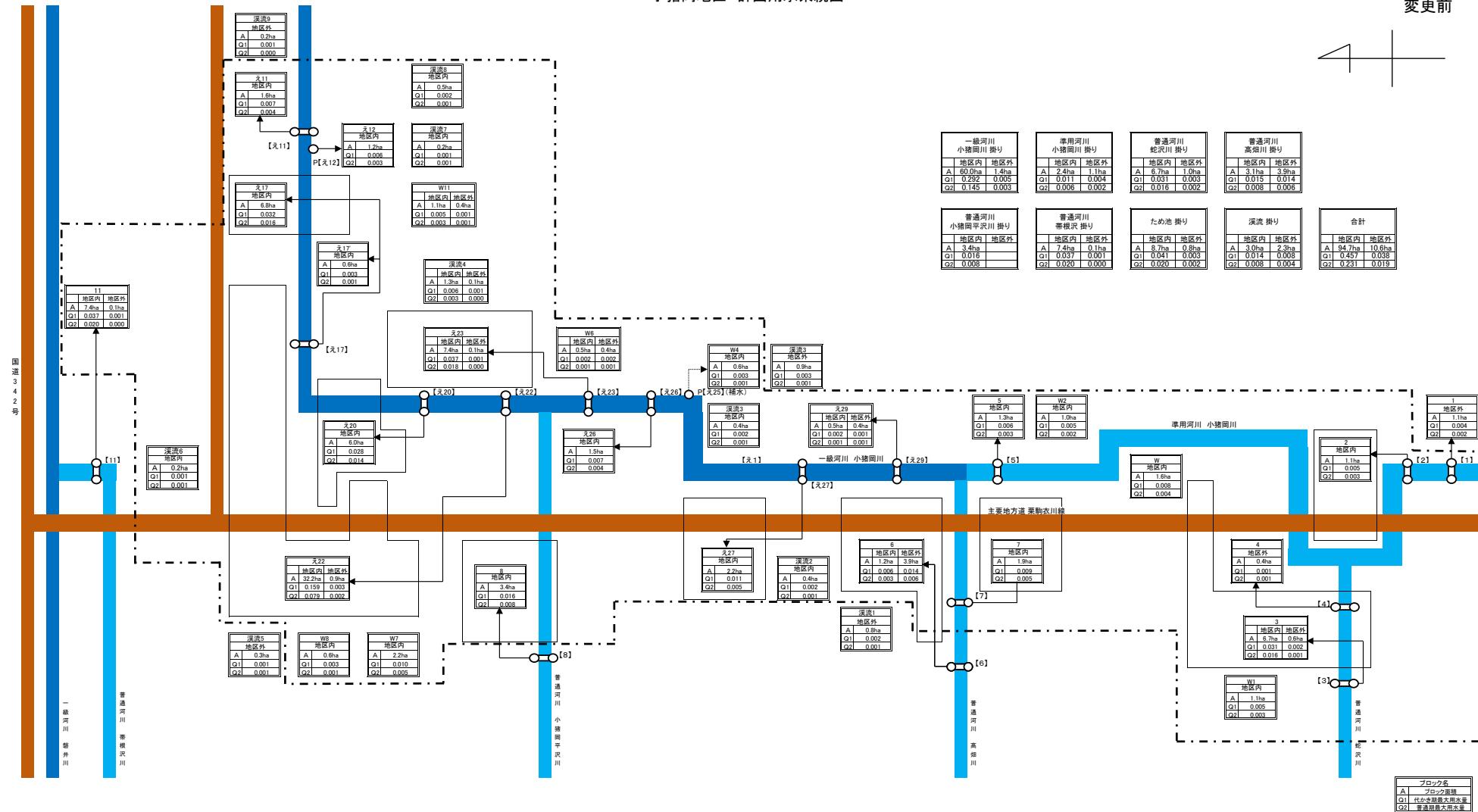
## 小猪岡地区 計画用水系統図

## 变更後



## 小猪岡地区 計画用水系統図

## 变更前



#### 4. 計画用水量

##### (1) かんがい用水

上段：変更後

下段：変更前

(第10表-1-1)

項目 系統 名	種別	面積 (ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費 水 量	損失 率	粗用水量		備考	
		事業名			普通期	代かき期	面 積 (ha)	一平 日均 当か たり 計水 画深 (mm/日)	平均 間 断 日 数 (日)	面 積 (ha)	一平 日均 当か たり 計水 画深 (mm/日)	平均 間 断 日 数 (日)	面 積 (ha)	計平均 単位 用水 画量 (mm/日)	面 積 (ha)			平 最			
		区 画 整 理	地 区	計	計單 位 面 積 (mm/日)	計單 位 面 積 (mm/日)		計水 画深 (mm/日)	積 (ha)	積 (ha)	計水 画深 (mm/日)	積 (ha)	積 (ha)	積 (ha)	積 (ha)			均 (m <sup>3</sup> /s)	大 (m <sup>3</sup> /s)		
一級 小猪岡	農業用水	52.5 60.0	6.0 1.4	58.5 61.4	〃 18	〃 138	58.5 61.4									0.245 0.256	〃 10・15	0.136 0.148	0.274 0.297		
準用 小猪岡	農業用水	0.4 2.4	0.4 1.1	0.8 3.5	〃 18	〃 138	0.8 3.5									0.004 0.013	〃 10・15	0.002 0.008	0.004 0.015		
普通 蛇沢川	農業用水	3.7 6.7	1.8 1.0	5.5 7.7	〃 18	〃 138	5.5 7.7									0.023 0.031	〃 10・15	0.013 0.018	0.025 0.034		
普通 高畠川	農業用水	2.8 3.1	3.9 3.9	6.7 7.0	〃 18	〃 138	6.7 7.0									0.028 0.025	10 15	0.016 0.014	0.031 0.029		
普通 小猪岡平沢川	農業用水	0.6 3.4	〃 -	0.6 3.4	〃 18	〃 138	0.6 3.4									0.003 0.014	〃 10	0.001 0.008	0.003 0.016		
普通 帶根沢川	農業用水	7.3 7.4	〃 0.1	7.4 7.5	〃 21	〃 141	7.4 7.5									0.034 0.034	〃 10	0.020 0.020	0.038 0.038		
ため池	農業用水	5.5 8.7	0.1 0.8	5.6 9.5	〃 18	〃 138	5.6 9.5									0.023 0.038	〃 10・15	0.013 0.022	0.026 0.044		
沢 (渓流)	農業用水	0.6 3.0	— 2.3	0.6 5.3	〃 18	〃 138	0.6 5.3									0.003 0.019	〃 15	0.001 0.012	0.003 0.022		
計		〃 94.7	〃 10.6	〃 105.3		〃 105.3										〃 0.430		〃 0.250	〃 0.495		

上段：変更後

下段：変更前

(2) 営農飲雜用水

〃

該当なし

(第10表-1-2)

区分		対象面積 (ha)		日当たり給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考			
		事業名		単位給水量 (リッル/日)	最大給水量 (リッル/日)						
			計								

## 5. 水源計画

上段：変更後  
下段：変更前

### (1) 水利用計画

水田(水稻) : 5mm/日～80mm/日の80%  
 (畑利用) : —  
 TRAM 水田(畑利用) : —mm  
 間断日数 水田(畑利用) : 一日  
 かんがい効率 水田(水稻) : 85、90%  
 水田(畑利用) : —%

(第10表-2)

項目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量		不足水量		水源依存量		水源工種	備考
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名		
区分	a (千m <sup>3</sup> )	b (千m <sup>3</sup> )	c=a-b (千m <sup>3</sup> )	d=c/(1- $\alpha$ ) (千m <sup>3</sup> )	e (千m <sup>3</sup> )	f (千m <sup>3</sup> )	g=c-f (千m <sup>3</sup> )	h=d-e (千m <sup>3</sup> )	i (千m <sup>3</sup> )	j (千m <sup>3</sup> )	損失率: $\alpha$	
区画整理	1,359		1,359	1,516	〃	1,516	1,359				〃	0.10・0.15
	1,421		1,421	1,650	一級河川小猪岡川	1,650	1,421				頭首工	地区外含む
	20		20	22	〃	22	20				〃	
	78		78	89	準用河川小猪岡川	89	78				頭首工	地区外含む
	130		130	144	〃	144	130				〃	
	179		179	200	普通河川蛇沢川	200	179				頭首工	地区外含む
	160		160	178	〃	178	160				〃	
	133		133	157	普通河川高畠	157	133				頭首工	地区外含む
	11		11	12	〃	12	11				〃	
	80		80	89	普通河川小猪岡平沢川	89	80				頭首工	
	200		200	222	〃	222	200				〃	
	200		200	222	普通河川帶根沢川	222	200				取水工	地区外含む
計	129		129	145	〃	145	129				〃	
	213		213	245	ため池	245	213				〃	地区外含む
	10		10	12	〃	12	10				〃	
	120		120	133	沢(溪流水)	133	120				取水工	地区外含む
	2,019		2,019	2,251		2,251	2,019					
	2,424		2,424	2,785		2,785	2,424					

(2) 用水対策

(ア) 貯水池 〃 該当なし

上段: 変更後

下段: 変更前

(第10表-3)

項目 貯水池名	直 接	間 接	かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m <sup>3</sup> )	有効貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用回数 (回)	最大取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考						
			事業名														
				計													

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km <sup>2</sup> )	かんがい面積 (ha)			取水量(m <sup>3</sup> /s)		渴水量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考		
			事業名			最大	平均				
			区画整理	地区外	計						
福木立頭首工【え29】	一級河川小猪岡川	6.749	0.5	0.4	0.9	0.003	0.002	1.79			
頭首工【5】	準用河川小猪岡川	2.623	1.3		1.3	0.006	0.003	1.79			

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項目 名称	水 源 名	かんがい面積 (ha)			所要水量(m <sup>3</sup> /s)		揚水機			備 考	
		事業名			最 大	平 均	実揚程 (m)	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	台 数 (台)	全揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	
		区画整理		計							
山梨揚水機【え12】	〃 一級河川小猪岡川	1.3 1.2		1.3 1.2	〃 0.006	〃 0.003	〃 2.1	〃 0.54	〃 1	〃 0.387	

上段：変更後  
下段：変更前

(工) 用 水 路

(第10表-6)

項 目 名 称	事 業 名			最大通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (m)	構 造	備 考
	区画整理	(地区外)	計				
用水路工	73.4 94.7	12.3 10.6	85.7 105.3	0.162	2,307 4,779 15,145 14,856	〃 BF300～BF900 〃 VU75～VU350	
計	73.4 94.7	12.3 10.6	85.7 105.3		17,452 19,635		

(オ) その他の水源施設

〃  
該当なし

(3) 水質水温

〃  
該当なし

上段：変更後  
下段：変更前

## 第4節 排水計画

### 1. 計画基準雨量

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成26年3月版 祭時地域雨量観測所)

最大 24時間雨量	202.8 mm (1/10年)	126.0 mm (1/2年)
最大 4時間雨量	106.4 mm (1/10年)	63.3 mm (1/2年)
最大 1時間雨量	44.6 mm (1/10年)	26.8 mm (1/2年)

### 2. 計画排水方式

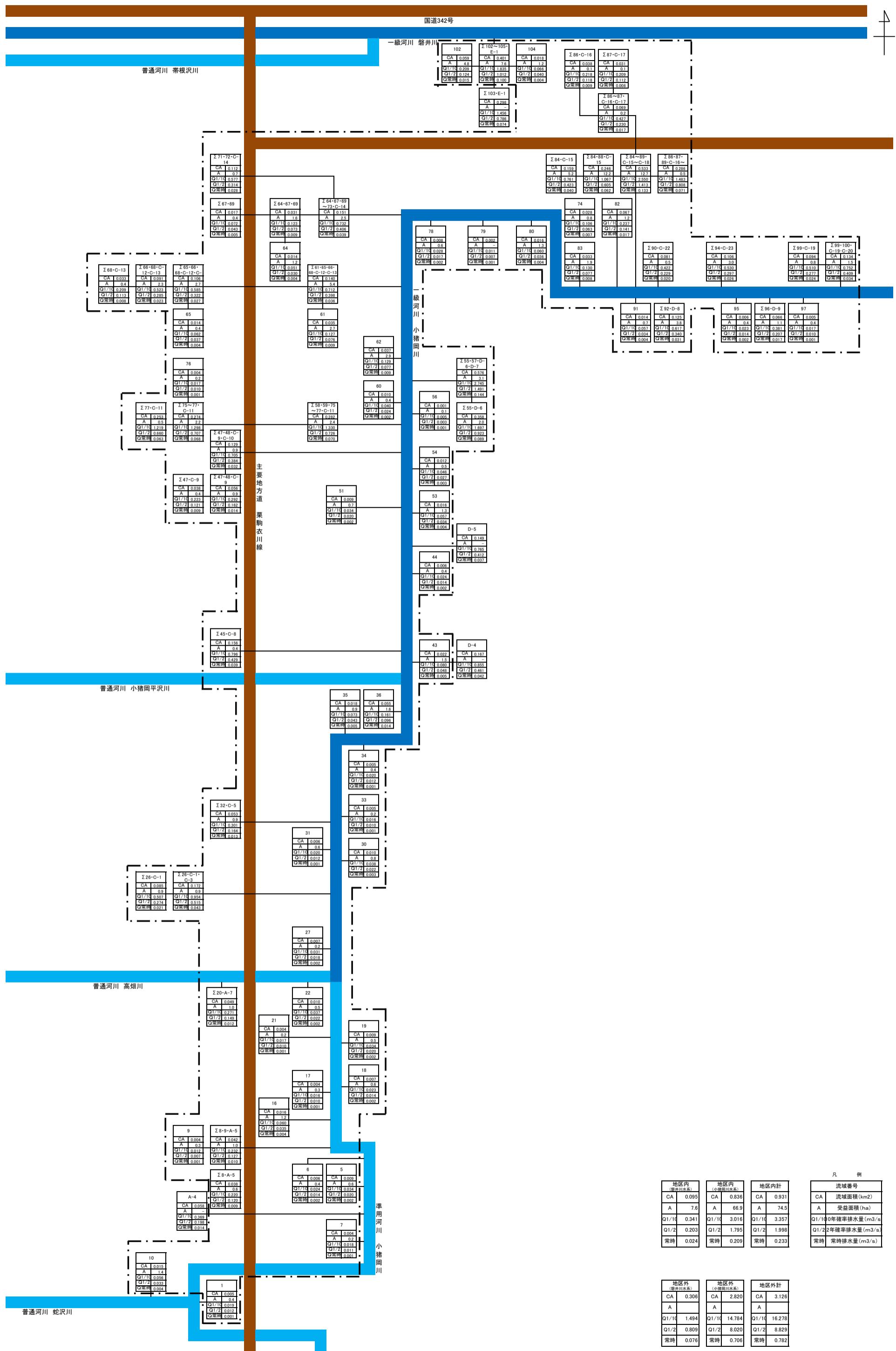
自然流下排水

### 3. 計画排水系統

次頁参照

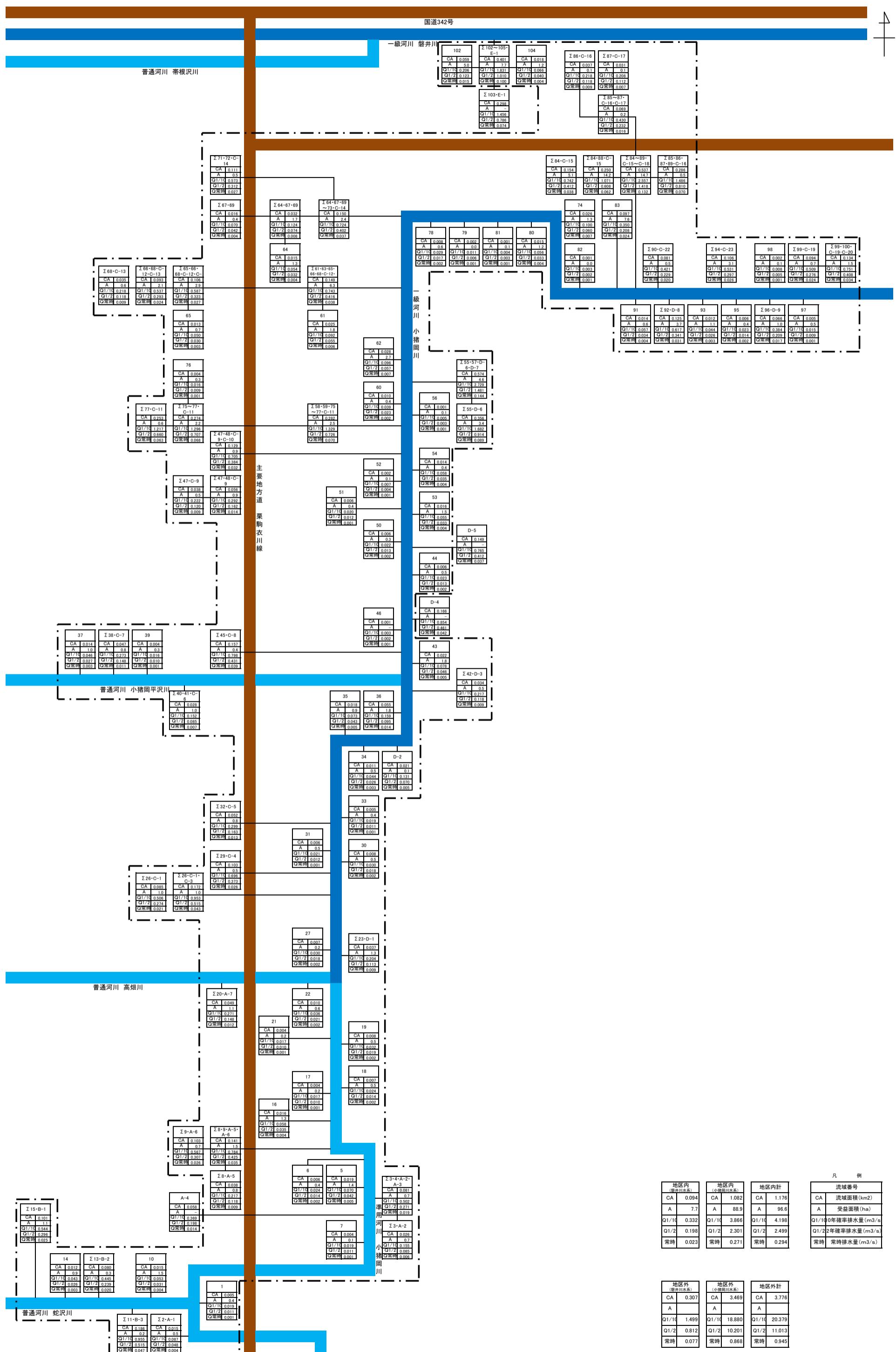
## 小猪岡地区計画排水系統図

變更後



## 小猪岡地区計画排水系統図

麥更前



#### 4. 計画排水量

上段：変更後

下段：変更前

(第11表-1)

排水 系統名	事業名			流域面積 (km <sup>2</sup> )		基準 雨量 (mm)	降雨による 直接単位流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		基底流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		全排水量 (m <sup>3</sup> /s)		単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		備 考			
							山地	平地	山地	平地	山地	平地	山地	自然排水	機械排水			
	区画整理		計	山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地	山地	0.25	13.488 17.842	4.312 4.904	〃 -	〃 1/10確率 4.734～ 7.003
〃 小猪岡川	66.9 88.9		66.9 88.9	2.510 3.201	1.146 1.350	〃 106.4mm/4hr	〃 1/10確率 4.734～ 7.003	〃 2.217～ 4.803	〃 0.25	13.488 17.842	4.312 4.904	〃 -	〃 1/10確率 4.734～ 7.003	〃 2.217～ 4.803	〃 -	〃 1/10確率 4.734～ 7.003	〃 2.217～ 4.803	
〃 磐井川	7.6 7.7		7.6 7.7	0.291 0.293	0.110 0.108													
計	74.5 96.6		74.5 96.6	2.801 3.494	1.256 1.458					14.982 19.274	4.653 5.303	〃 -						

5. 排水対策

上段：変更後  
下段：変更前

(1) 排水水門 該当なし

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積(ha)			計画		排水本川		備考	
		事業名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内たん 水深 (m)	名稱	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)		
				計						

(2) 排水機 該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積(ha)			計画		排水機			備考	
		事業名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内たん 水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)		
				計							

## (3) 排水路

上段：変更後

下段：変更前

(第11表-4)

項目 名称	(km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計画排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)	構造	排水本川			備考			
		事業名						名称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)				
		区画整理		計										
〃	3.656	66.9		66.9	17.800	11,789	〃	〃	〃	〃				
小排水路	4.551	88.9		88.9	22.746	12,788	排水フリューム	小猪岡川	—	—				
〃	〃	7.6		7.6	1.835	868	〃	〃	〃	〃				
小排水路	0.401	7.7		7.7	1.831	955	排水フリューム	磐井川	—	—				
計	4.057	74.5		74.5	19.635	12,657	△	△	△	△				
	4.952	96.6		96.6	24.577	13,743	△	△	△	△				

## (4) その他

該当なし

〃

## 6. 湿水検討

該当なし

〃

## 第5節 道路計画

上段：変更後  
下段：変更前

### 1. 道路及び索道

#### (1) 道路

(第12表-1)

路線名	項目 幅(有効) × 延長 (m) (m)	構 造	既設道路との関係	備 考
支線道路(A)	〃 4,878 5.0(4.0) × 5,812	〃 敷砂利工 (t = 0.10m)	〃 県道・市道取付あり	
支線道路(B)	〃 9,261 4.0(3.0) × 10,365	〃 敷砂利工 (t = 0.10m)	〃 県道・市道取付あり	
支線道路(C)	〃 363 5.0(4.0) × 1,190	〃 敷砂利工 (t = 0.10m)	〃 市道取付あり	腹付け拡幅
市道切り替え	〃 205 5.0(4.0) × 112	As舗装		
計	14,707 17,479			

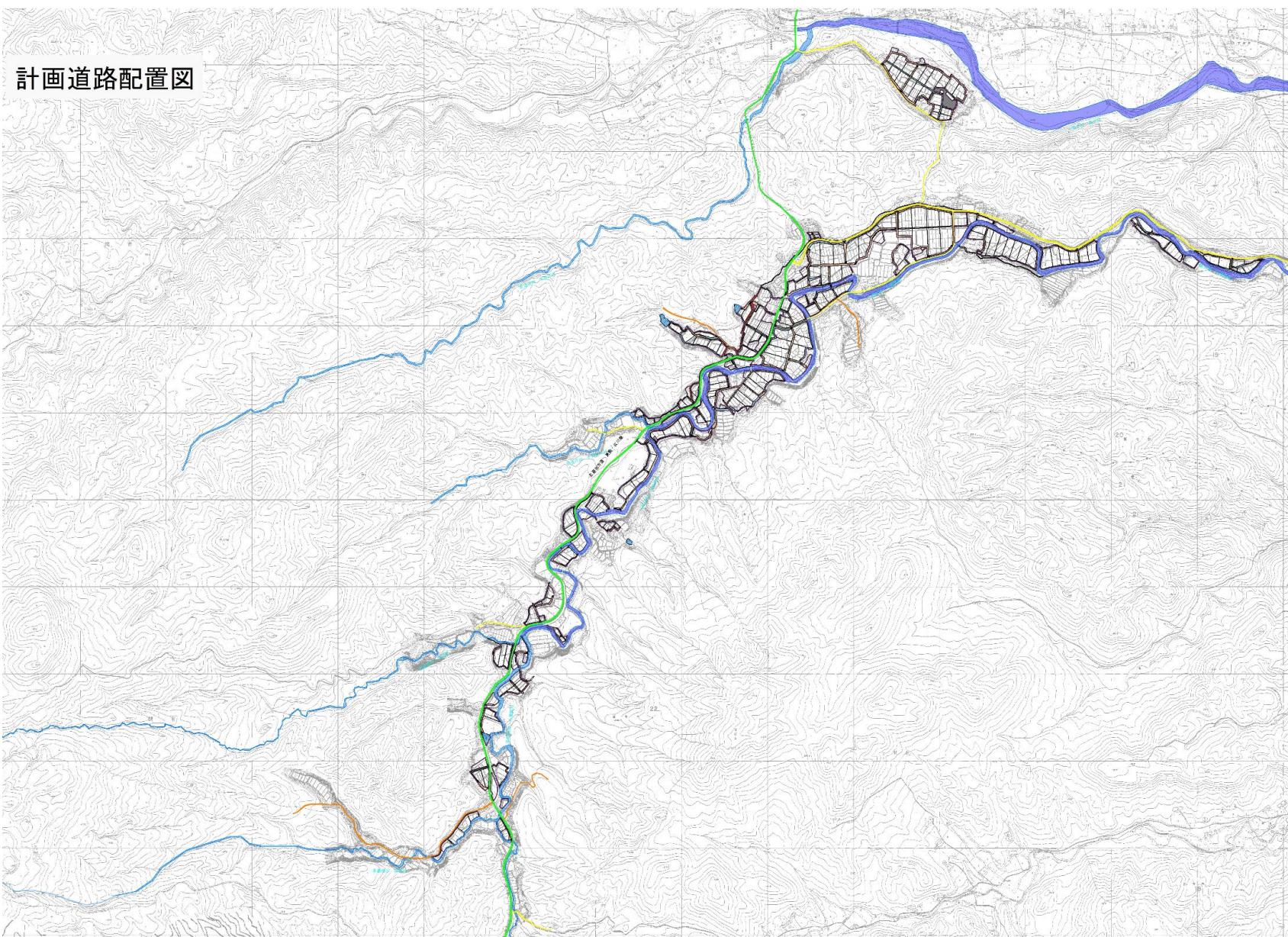
#### (2) 索道

該当なし

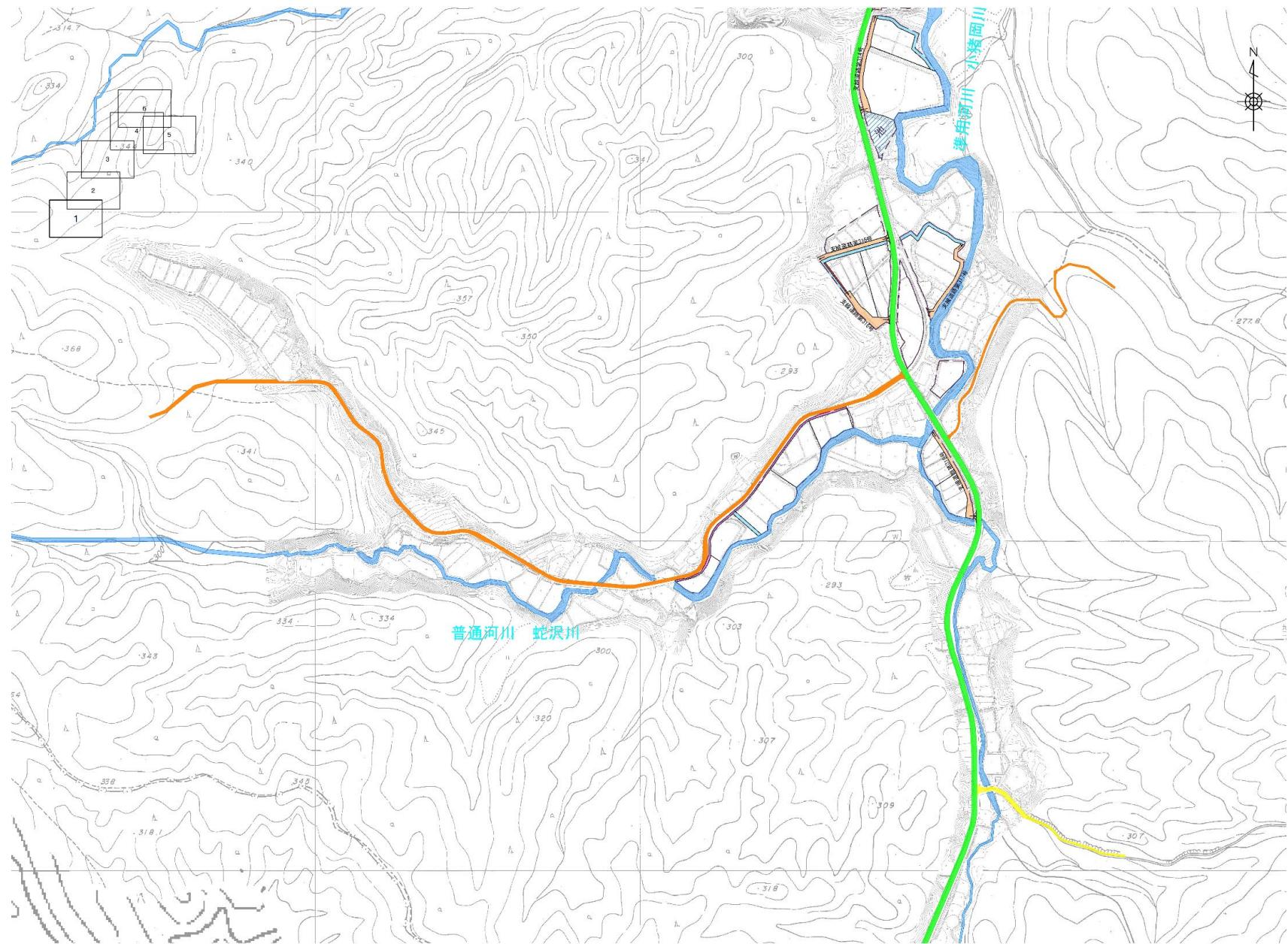
### 2. 路線配置図

別紙のとおり

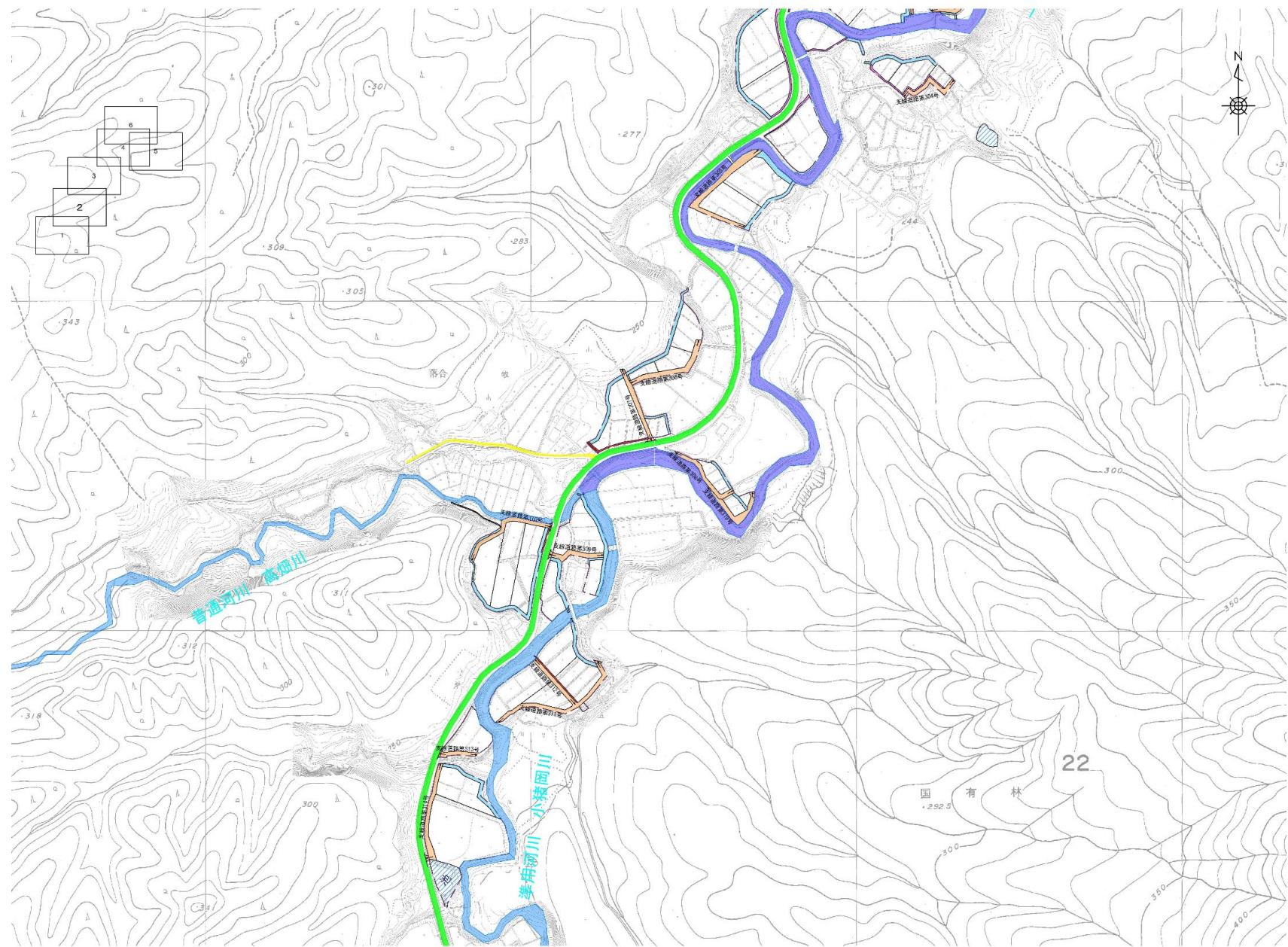
変更後



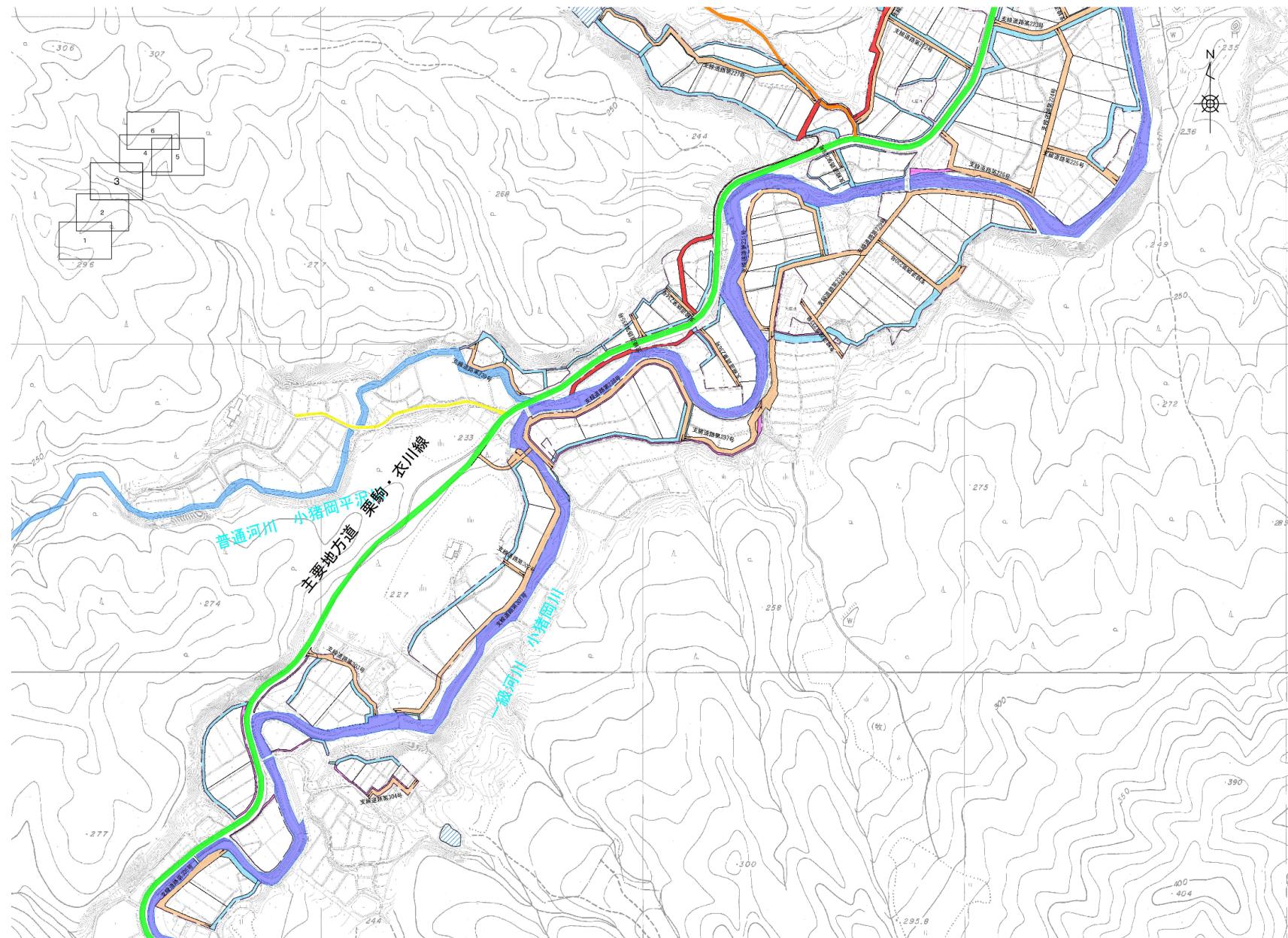
変更後



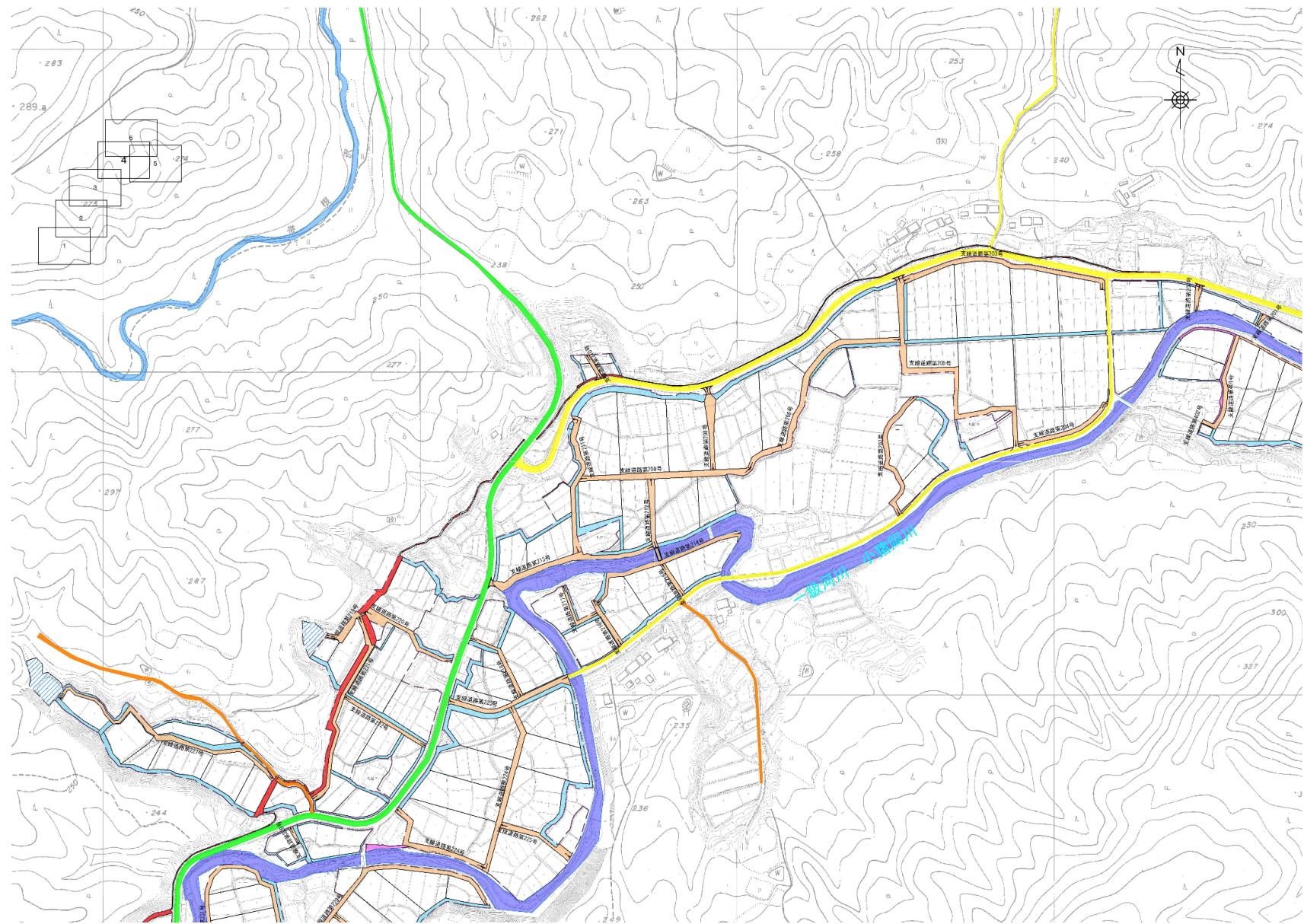
変更後



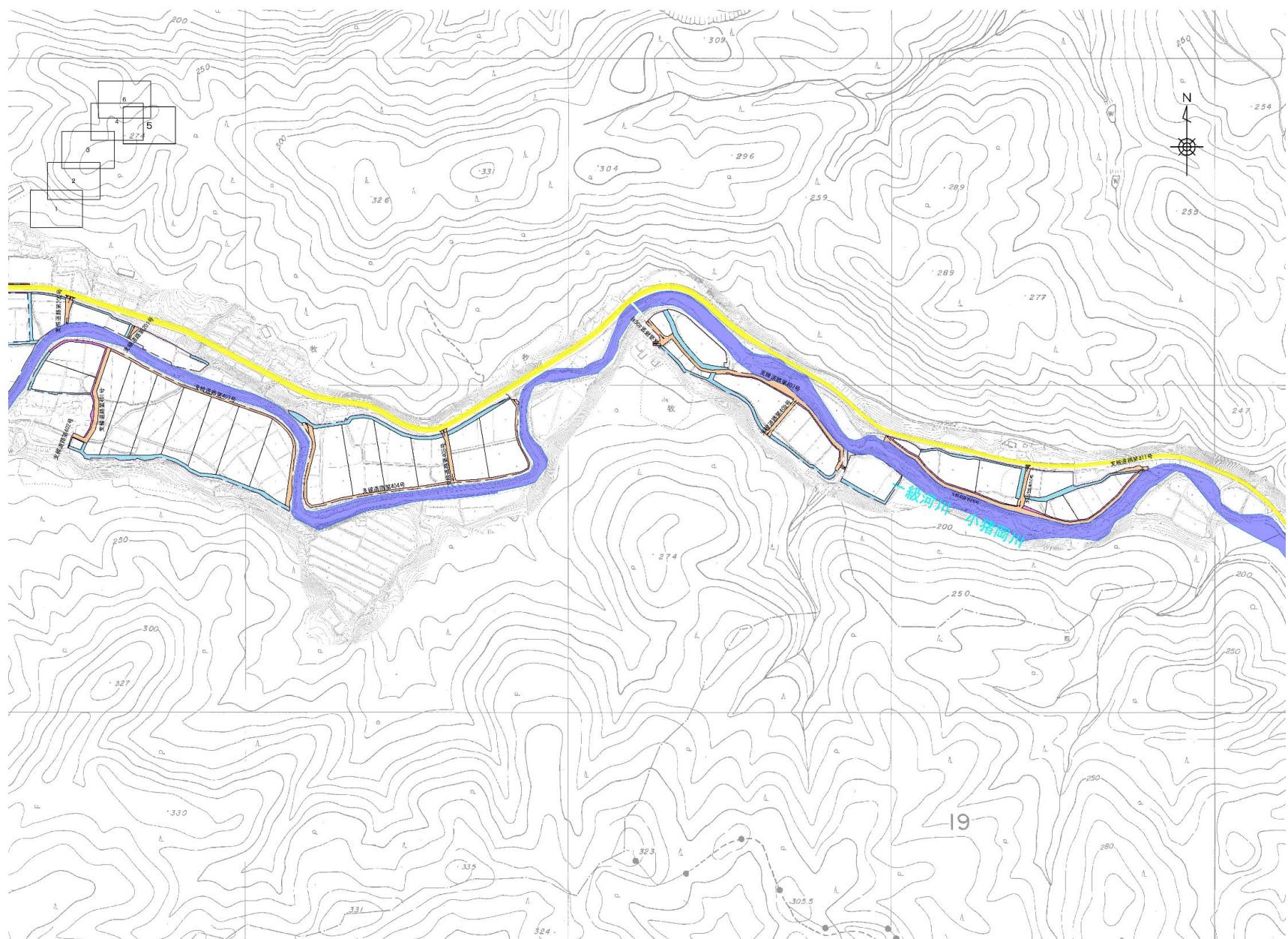
変更後



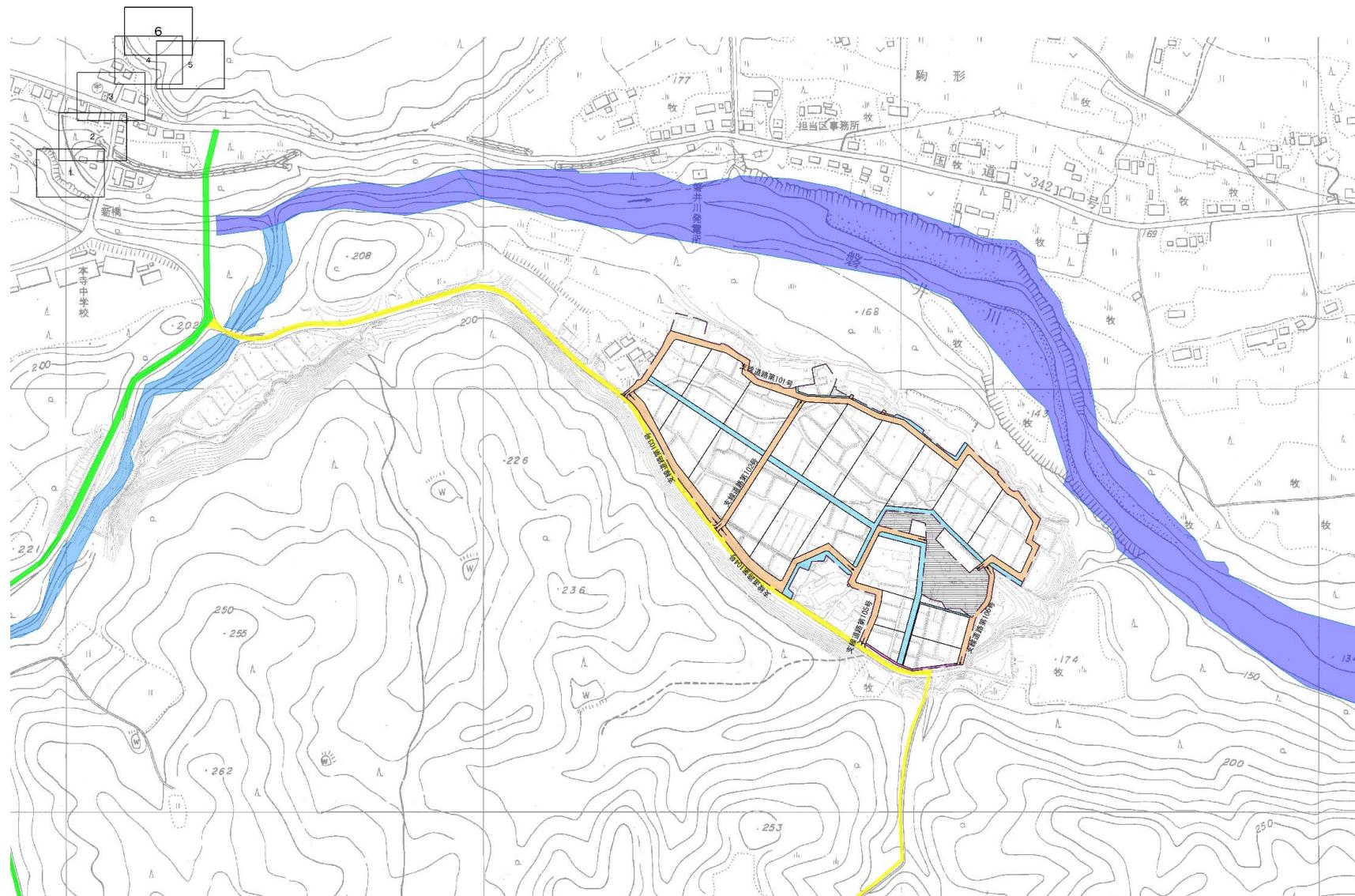
## 变更後



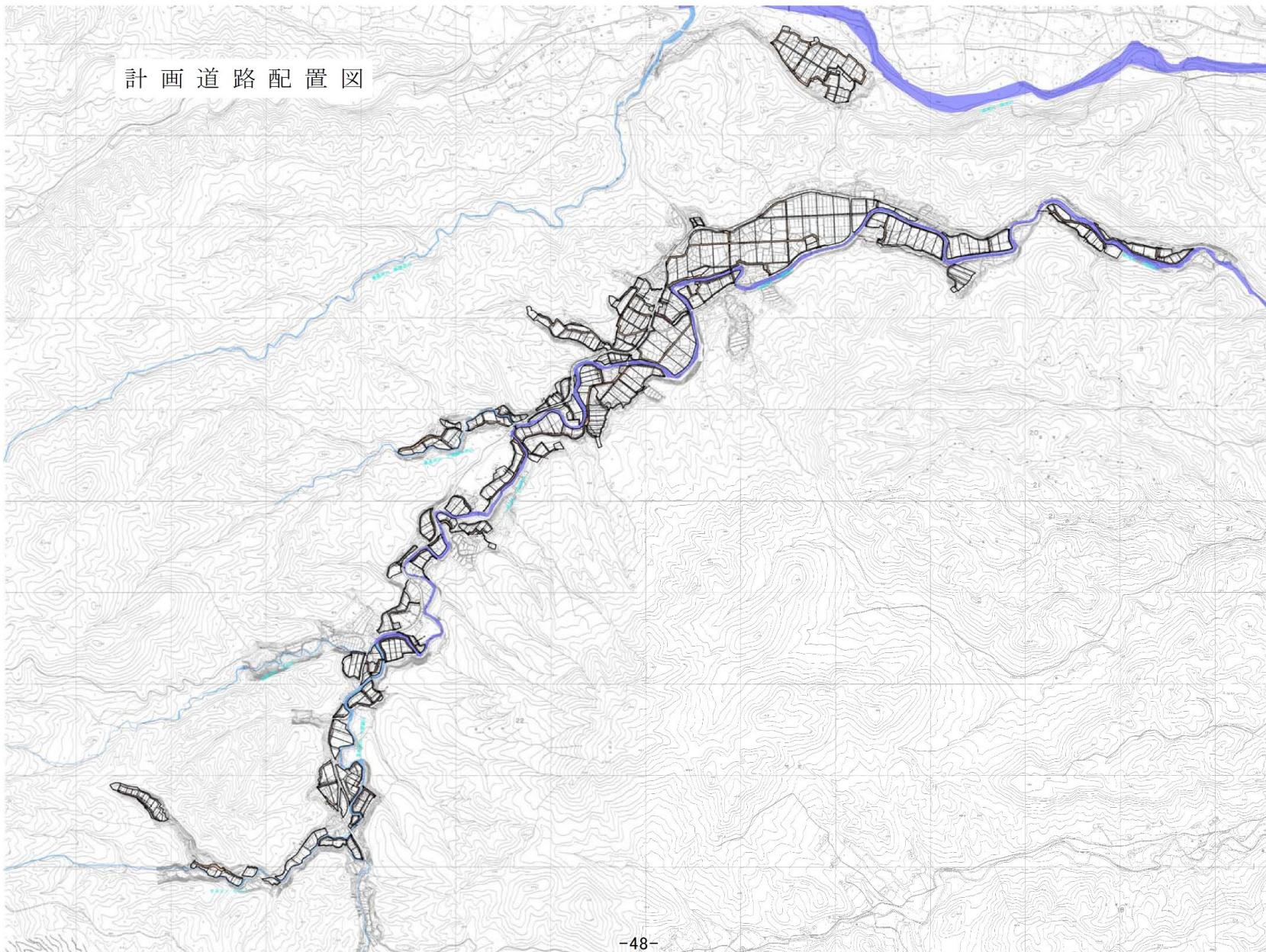
変更後



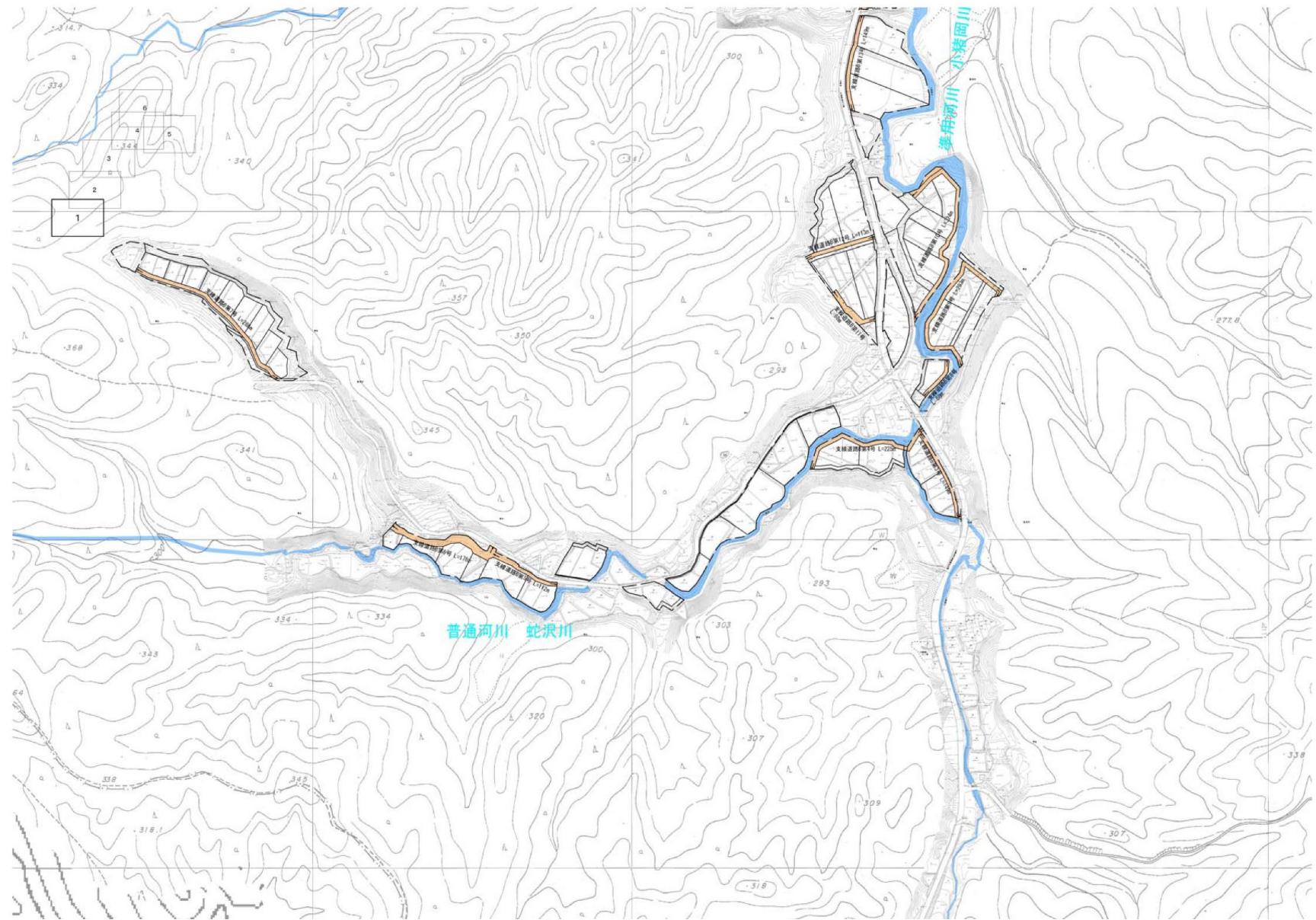
## 变更後



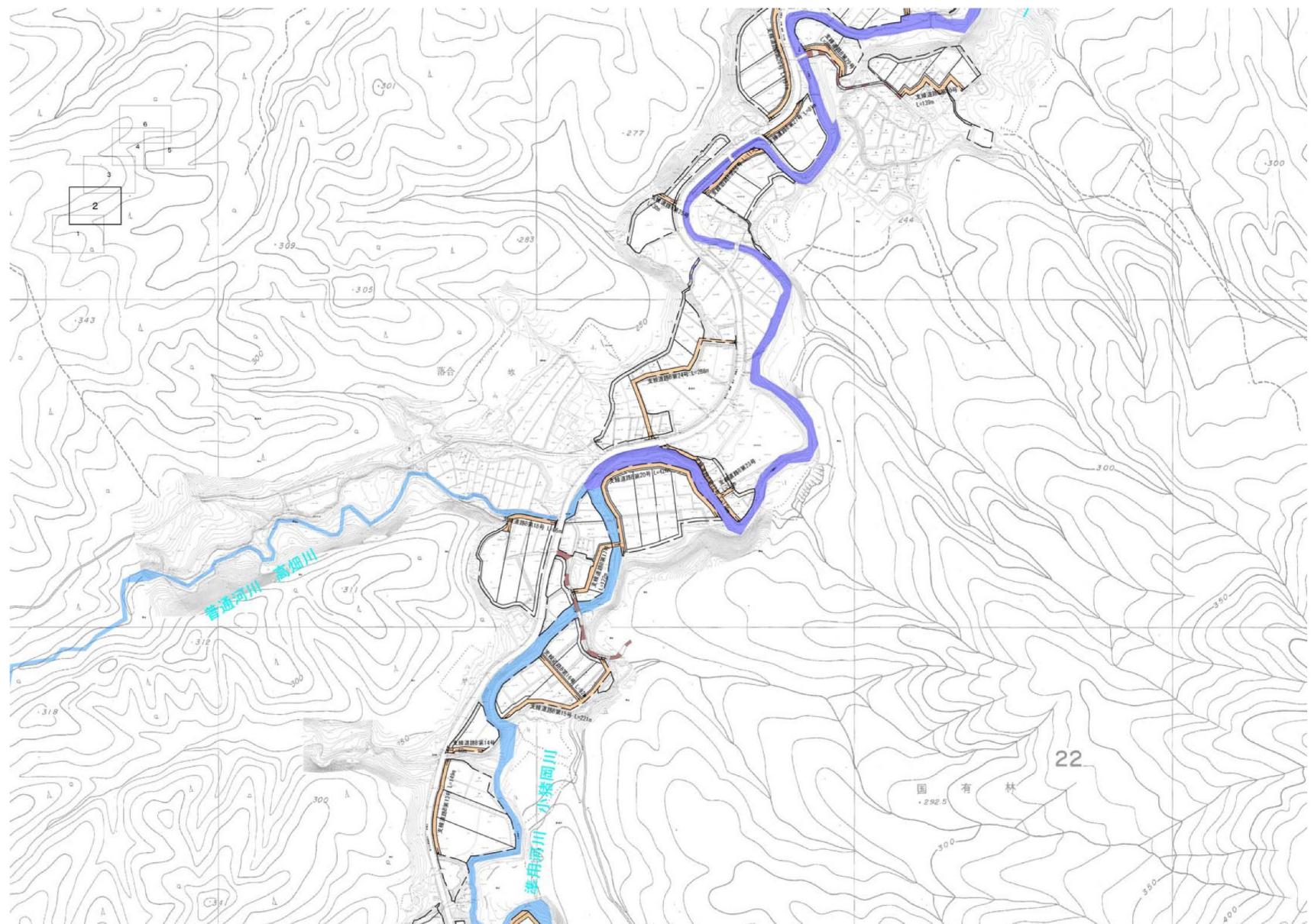
変更前



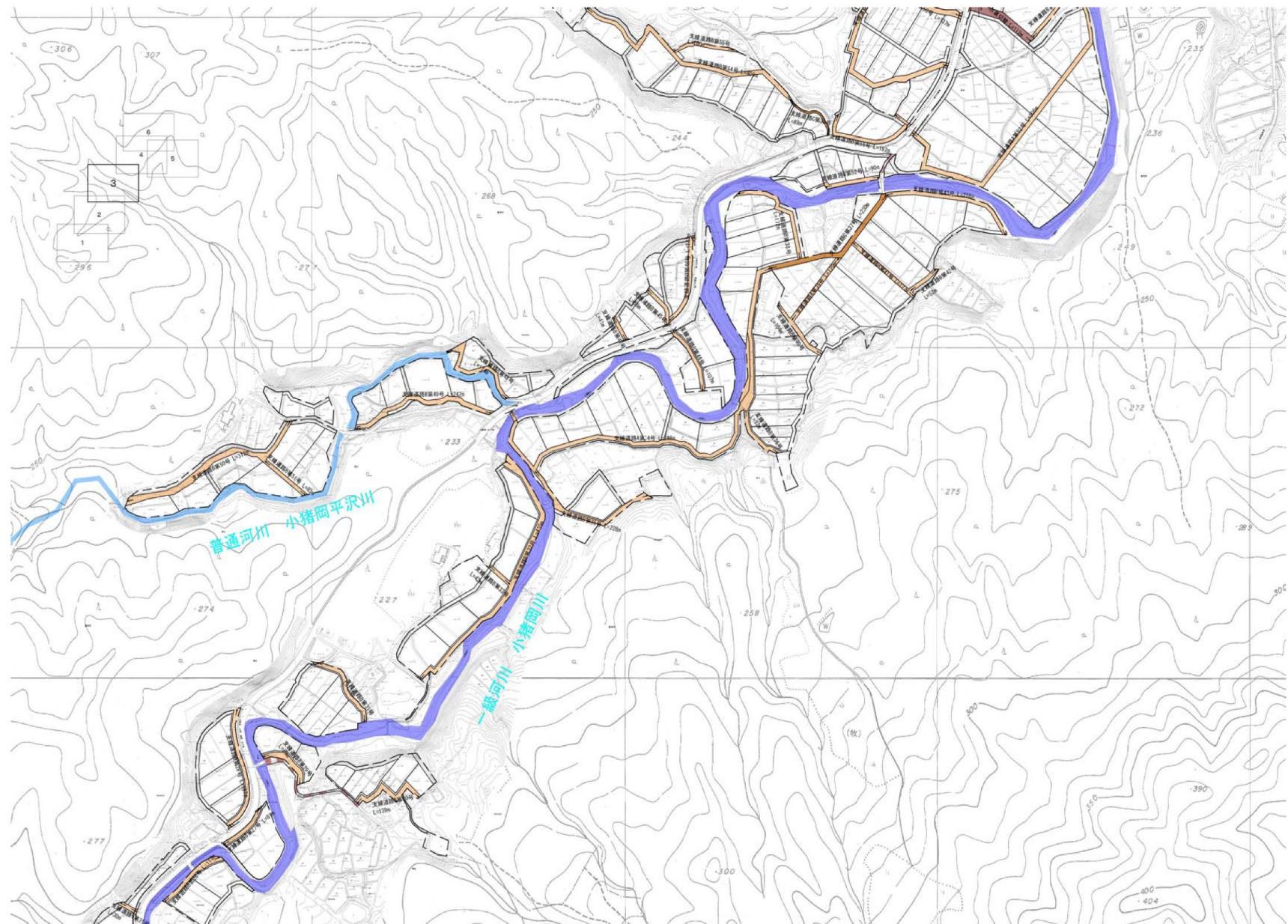
変更前



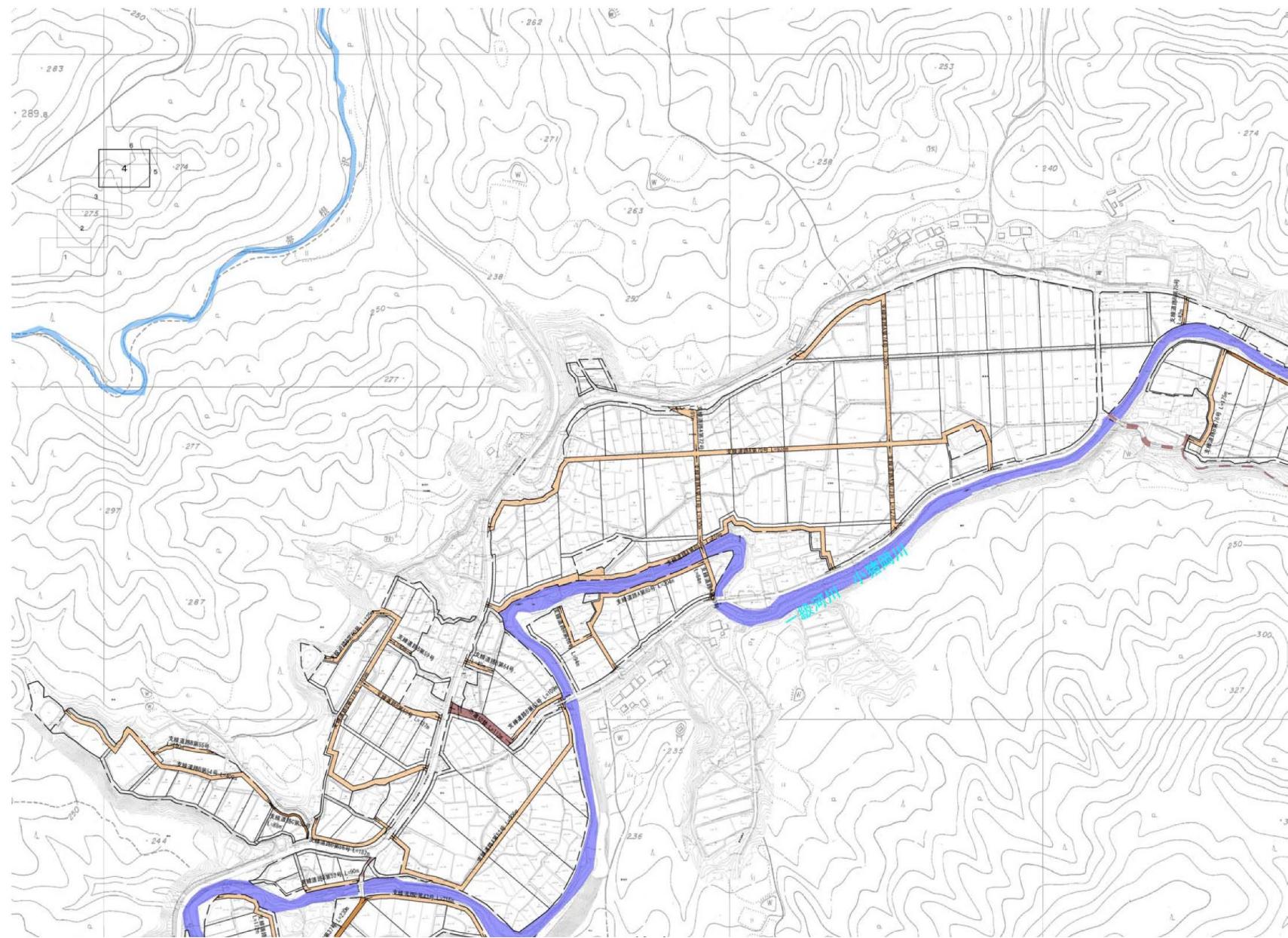
変更前



变更前



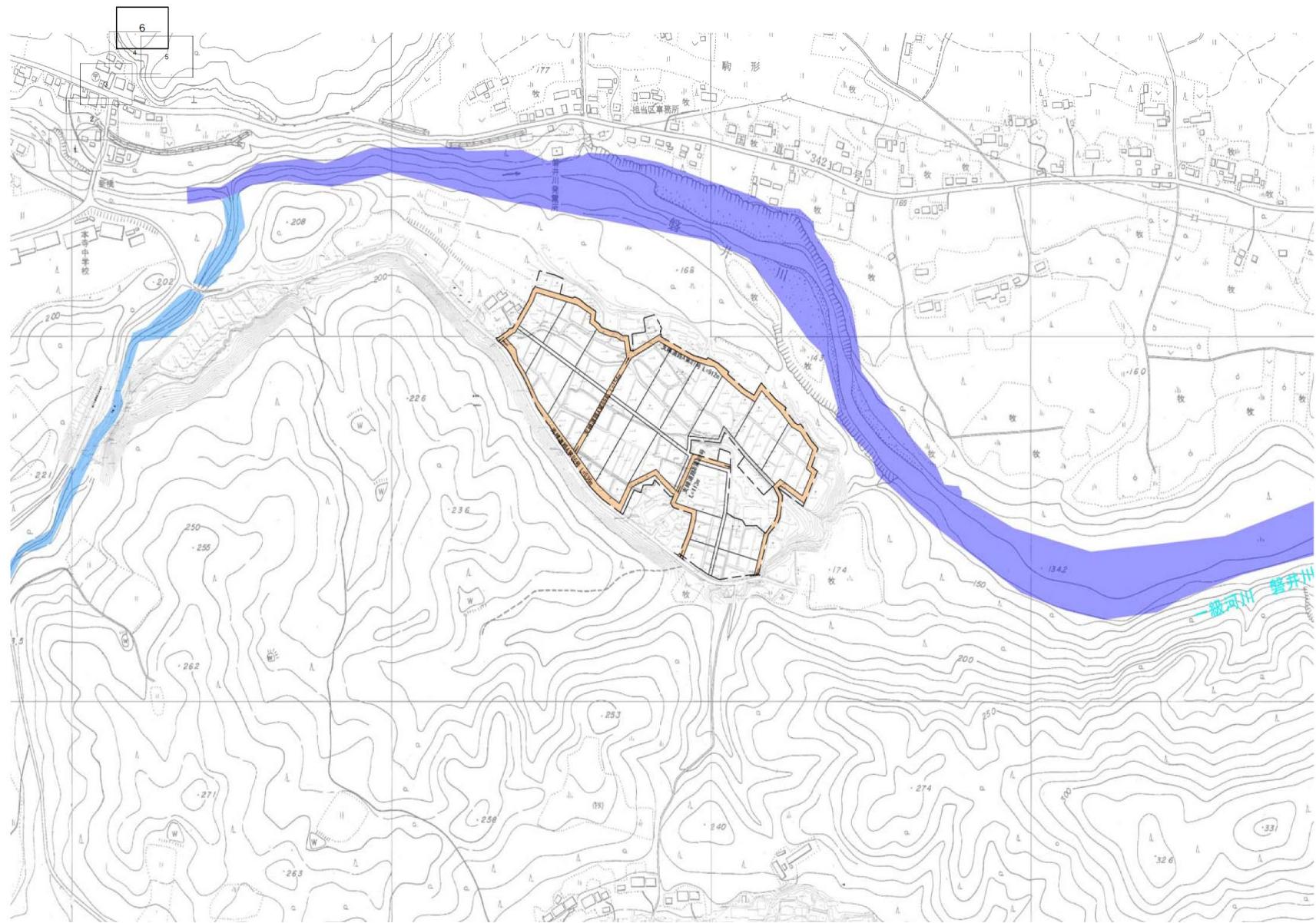
变更前



变更前



变更前



## 第6節 農用地造成計画

上段：変更後  
下段：変更前

### 1. 農用地造成計画

#### (1) 農地造成計画

該当なし

(第13表-1)

項目 地区名	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備 考

#### (2) 末端道排水路配置計画

該当なし

### 2. 土壤改良

該当なし

(第13表-2)

項目 区分	面 積 (ha)	土 壤 統 (区) 名	P H		置換酸度 (Y <sub>1</sub> )	りん酸吸 収 係 数 (mg/100g)	ha当たり所要量 (t/ha)			備 考
			H <sub>2</sub> O	KG1			石炭	りん酸質資材	有機質 資材	

## 第7節 洪水調節計画

上段：変更後  
下段：変更前

〃  
該当なし

### 2. 計画洪水量及び調節量

〃  
該当なし

(第14表-1)

地 点	流域面積 (km <sup>2</sup> )	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	安全洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	必要調節量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調節量 (m <sup>3</sup> /s)	調節後 最大流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節前後の 最大流量の差 (m <sup>3</sup> /s)	最大調節量 (m <sup>3</sup> /s)

### 3. 貯水池

〃  
該当なし

(第14表-2)

項目 貯水地名	流域面積(km <sup>2</sup> )		計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	貯水量(千m <sup>3</sup> )			計画調節流量 (m <sup>3</sup> /s)	可能調節流量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

#### 4. 洪水調節検討

上段：変更後  
下段：変更前

(1) 河川改修計画との関係 該当なし

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響 該当なし

(3) 計画基準雨量以外についての検討 該当なし

#### 5. 管理計画

(1) 管理機構 該当なし

(2) ダム管理操作上の各種基準 該当なし

(3) 洪水調節要領 該当なし

### 第8節 干拓計画

該当なし

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (I P m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

## 第9節 農用地整備計画

上段：変更後  
下段：変更前

### 1. 区画整理

#### (1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割 合 (%)	田 面 差 (m)	備 考
125 × 80	〃	2.1	3	〃	
	1.0	7.8	8	0.8	
125 × 40	〃	30.5	41	〃	
	0.5	28.4	29	0.4	
100 × 30	〃	27.9	37	〃	
	0.3	28.7	30	0.8	
80 × 25	〃	8.3	11	〃	
	0.2	18.3	19	0.6	
その他	—	13.4	14		1.1 (うち畑：1.9ha)
計		74.5 96.6			

#### (2) 表土扱い

(第16表-2)

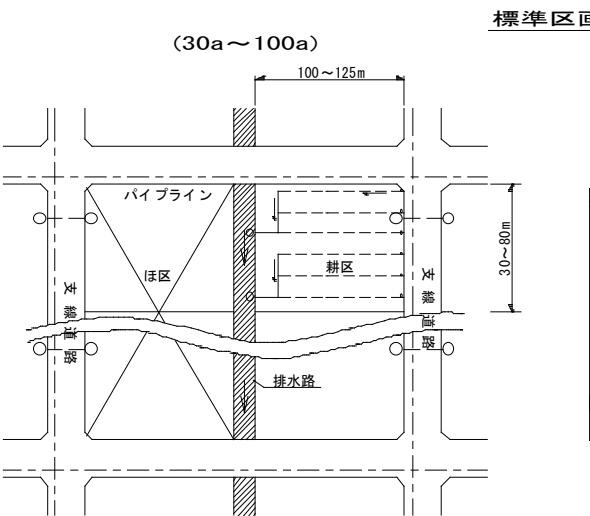
面 積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土 量 (m <sup>3</sup> )	備 考
74.5 96.6	〃 地力の保持	〃 15~20	112,300 145,850	

#### (3) 末端道水路配置図

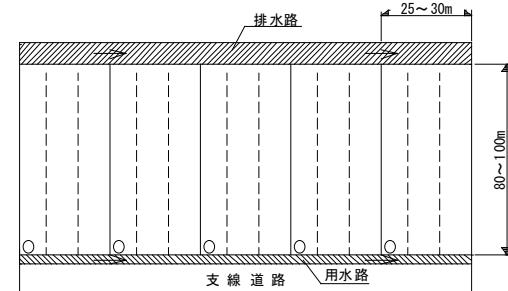
別紙のとおり

上段：変更後  
下段：変更前

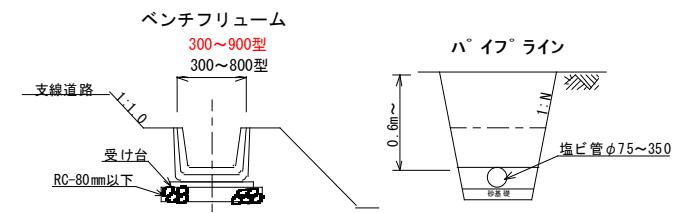
## 末端道水路配置図



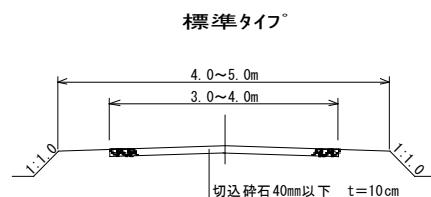
(20a～30a)



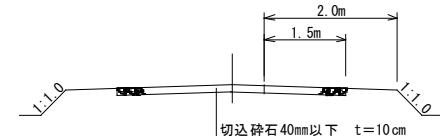
### 用水路工



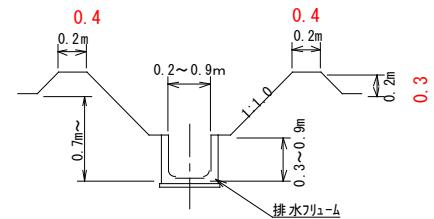
### 支線道路



### 腹付拡幅



### 排水路



上段：変更後  
下段：変更前

2. 暗渠排水  
(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

区分	項目	面 積 (ha)		土壤統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (L/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下 の排水方法	備 考						
		事 業 名													
		区画整理	計												
〃	暗渠排水	66.1 87.3	66.1 87.3	強グライ土壤強粘土還元型	〃 50	〃 5.7	〃 0.5	〃 自然排水	〃 D-30						
〃	暗渠排水	7.3 7.4	7.3 7.4	黒色土壤粘土火山腐植土	〃 50	〃 5.7	〃 0.5	〃 自然排水	〃 H-70						
計		73.4 94.7	73.4 94.7												

(2) 心土破碎

〃  
該当なし

(第16表-3-2)

区分	項目	面 積 (ha)		土壤統(区)名	土壤硬度 (mm/日)	備 考			
		事 業 名							
計									

3. 客土 〃 該当なし

上段：変更後  
下段：変更前  
(第16表-4)

項目 区分	面 積 (ha)		土 壤 統 (区) 名	減水深(mm/日)		作土の厚さ(cm)		10a当たり 客土量 (m <sup>3</sup> )	土 壤 の 性 質		備 考	
	事 業 名			現 況 平 均	計 画 平 均	現 況 平 均	計 画 平 均		受 益 地 (%)	採 土 地 (客土材 料) (%)		
		計										
計												

4. 農地保全 〃

(1) 防災林 該当なし

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排水工 該当なし 〃

(第16表-5-2)

項目 区分	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備 考
				単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/ha)	全排水量 ( m <sup>3</sup> /s)	

(3) 侵食（崩壊）防止工

上段：変更後

下段：変更前

〃  
該当なし

(第16表-5-3)

区分	位 置	支配面積 (ha)	機 能	備 考
計				

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画 該当なし

(1) 計画基準雨量 該当なし

(2) 計画洪水量 該当なし

2. 堤体補強計画 該当なし

3. 取水施設改修計画 該当なし

上段：変更後  
下段：変更前

## 第 5 章 主要工事計画

### 第1節 用水施設

#### 1. 貯水池 該当なし

(第17表-1)

名 称				位 置						備 考
	形 式	流域面積(km <sup>2</sup> )		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 質 (千m <sup>3</sup> )	基盤地盤地質	貯 水 量 (千m <sup>3</sup> )		
堤 体		直 接	間 接					総貯水量	有効貯水量	
洪 水 吐	形 式	排 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考		形 式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	放流施設	形 式	放 流 量 (m <sup>3</sup> /s)	
				取水施設						

上段：変更後

下段：変更前

## 2. 頭首工

(第17表-2)

名 称	位 置			一級河川小猪岡川、準用河川小猪岡川			備 考
	形 式	堤 高 (m)	堤 長 (m)		取 水 位 (m)	取 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	
—			固 定 部	可動部	計	—	—
コンクリート固定堰	—	1.5	10.0		10.0	0.003	取水ゲート 桜木立頭首工【え29】
コンクリート固定堰	—	1.5	10.0		10.0	0.006	取水ゲート 頭首工【5】

## 3. 揚水機

(第17表-3)

項目 名称	位 置	揚 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	揚 程 (m)		揚 水 機		原 動 機		備 考
			実揚程 (m)	全揚程 (m)	形 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	形 式	
山梨揚水機場	山 梨	0.006	〃	2.1	2.7	陸上	65	1	発電機 0.4kw 1 【え12】

上段：変更後  
下段：変更前

#### 4. 用 水 路

(第17表-4)

項目 水路名	事業名			通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考	
					開渠	トンネル	計					
	区画整理	地区外	計		その他							
〃 用水路工	73.4 94.7	12.3 10.6	85.7 105.3	〃 0.162	2,307 4,779	15,145 14,856	17,452 19,635	〃 VU $\phi$ 75~350、BF300~900	〃 1/150~1/600	〃 取水工		
計	73.4 94.7	12.3 10.6	85.7 105.3	〃 0.162	2,307 4,779	15,145 14,856	17,452 19,635					

#### 5. その他かんがい施設

〃  
該当なし

(第17表-5)

項目 水路名	構 造		規 模		数 量		備 考

## 第2節 排水施設

上段：変更後  
下段：変更前

### 1. 排水水門 〃 該当なし

(第18表-1)

項目 名称	位 置	形 式	構 造	内 水 位 (m)	外 水 位 (m)	排 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考
計							

### 2. 排水機 〃 該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位 置	排 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	揚 程		排 水 機			原 動 機			備 考
			実 揚 程 (m)	全 揚 程 (m)	形 式	口 径 (m)	台 数 (台)	形 式	動 力	台 数 (台)	
計											

上段：変更後  
下段：変更前

### 3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	事業名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	区画整理		計		開水路	トンネル	その他				
	〃	74.5	96.6		11,853	804	12,657	〃	〃	〃	〃
排水路工	96.6		96.6	0.302～2.213	13,196	547	13,743	HF300×300 ～900×900	1/130～ 1/2040	水槽工横断暗渠工	
計	74.5	171.1	74.5	171.1	11,853	804	12,657				
					25,049	1,351	26,400				

〃

### 4. その他排水施設 該当なし

### 第3節 道路及び索道

上段：変更後  
下段：変更前

#### 1. 道 路

##### (1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅(有効) × 延長 (m) (km)	構造	付帯構造物			最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
〃	〃	〃 4.878	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
支線道路(A)	—	5.0(4.0) × 5,812	砂利道	—	—	—	—	—	—	
〃	〃	〃 9.261	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
支線道路(B)	—	4.0(3.0) × 10,365	砂利道	—	—	—	—	—	—	
〃	〃	〃 0.363	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
支線道路(C)	—	5.0(4.0) × 1,190	砂利道	—	—	—	—	—	—	
〃	〃	〃 0.205	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
市道切り替え	—	5.0(4.0) × 112	As舗装	—	—	—	—	—	—	
計		14.707 17,479								

##### (2) 道路主要構造物

該当なし

#### 2. 索道

該当なし

## 第4節 農用地造成

上段：変更後  
下段：変更前

### 1. 農用地造成工

〃  
該当なし

#### (1) 拔根

〃  
該当なし

(第20表-1)

項目 区分	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

#### (2) 除礫

〃  
該当なし

(第20表-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除去 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

## (3) 開墾作業

〃  
該当なし上段：変更後  
下段：変更前

(第20表-3)

項目 区分		面 積 (ha)	工 法	備 考			
地 目	造成方法						
計							

## (4) 地目変換

省略

(第20表-4)

## (5) 末端用水路

省略

(第20表-5)

## (6) 末端排水路

省略

(第20表-6)

## 2. 土壤改良

〃  
該当なし

(第20表-7)

項目 区分	面 積 (ha)	面 積 (ha)	面 積 (ha)	面 積 (ha)	備 考
計					

上段：変更後  
下段：変更前

## 第5節 洪水調節施設

1. 貯水池 該当なし  
2. 頭首工及び導水路 該当なし  
(1) 頭首工 該当なし

(第21表-2)

名 称	位 置			備 考	
	堤 長 (m)		計画洪水位 (m)		
形 式	集水面積 (km <sup>2</sup> )	堤 高 (m)	固定部	可動部	計

(2) 導水路 該当なし

(第21表-3)

水 路	項目	通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
			総延長	トンネル	その他			

## 第6節 干拓施設

1. 堤防 該当なし

(第22表-1)

名 称	項目	面 槍 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m)	施工方法	備 考

2. 潮止め 該当なし

(第22表-2)

名 称	項目	工 法	幅 見 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備 考

3. 付属施設 該当なし

(第22表-3)

名 称	項目	面 槍 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m)	施工方法 (m)	備 考

## 第7節 農用地整備施設

上段：変更後  
下段：変更前

### 1. 区画整理

#### (1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積(ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量(m <sup>3</sup> )	面積(ha)	土量(m <sup>3</sup> )	
小猪岡	2.1	〃	〃	2.1	3,150	
	7.8	125 × 80	—	7.8	11,700	
	30.5	〃	〃	30.5	45,750	
	28.4	125 × 40	—	28.4	42,600	
	27.9	〃	〃	27.9	41,850	
	28.7	100 × 30	—	28.7	43,050	
	8.3	〃	〃	8.3	12,450	
	18.3	80 × 25	—	18.3	27,450	
計	5.7	〃	〃	5.7	9,100	
	13.4	その他	—	13.4	21,050	
計	74.5			74.5	112,300	
	96.6			96.6	145,850	

#### (2) 末端用水路等

(第23表-2)

項目 区分	数量	規模	構造	備考
計				

#### (3) 末端排水路等

(第23表-3)

項目 区分	数量	規模	構造	備考
計				

上段：変更後

下段：変更前

(第23表-4-1)

## 2. 暗渠排水

## (1) 暗渠排水

項目 区分	面 積 (ha)			集 水 渠				吸 水 渠						集水渠出口以下の 排 水 施 設			備 考
	事 業 名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
	区画整 理		計														
〃	73.4		〃	〃	〃	〃	841	〃	〃	〃	〃	〃	1,040	小排水路	HF	126	
自動埋設型暗渠工	94.7		94.7	レベル	ポリ管	φ50~65		水頭差	ポリ管	φ50~60	0.6	0.6					
計																	

## (2) 心土破碎 該当なし

(第23表-4-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準 除礫量(m <sup>3</sup> /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
	計				

## 3. 客 土 該当なし

(第23表-5)

項目 区分	面 積 (ha)			客入土量 (m <sup>3</sup> )	土取場土量 (m <sup>3</sup> )	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考					
	事 業 名												
			計										
計													

## 4. 除 磕 該当なし

(第23表-6)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準 除礫量(m <sup>3</sup> /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
	計				

上段：変更後  
下段：変更前

4. 農地保全 該当なし

(1) 防災林 該当なし

(第23表-4)

区分	項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
計							

(2) 排水路 該当なし

(第23表-5)

区分	項目	延長 (m)	流量 (m)	構造	備考
計					

(3) 侵食防止工 該当なし

(第23表-6)

名称	項目	構造	数量	備考
計				

上段：変更後  
下段：変更前

## 第8節 老朽ため池改修施設

〃  
該当なし

(第24表)

名称					位置			
堤体	形式	流域 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m <sup>3</sup> )	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m <sup>3</sup> )	備考
洪水吐	形式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	規模 (m)	備考	取水施設	形式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考

### 2. 堤体補強施設

〃  
該当なし

#### (1) のり面保護施設

〃  
該当なし

#### (2) 漏水防止工

〃  
該当なし

上段：変更後  
下段：変更前

## 第6章 付帯工事計画

〃  
該当なし

## 第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手	平成	28	年度
	令和	10	
完了	平成	33	年度

## 第8章 環境との調和への配慮

〃  
本地区は田園環境整備マスタープランにおいて「環境配慮区域」とされており、地域で生育・生息が確認されている動植物の生息環境への負荷の低減に努め、現況保全すること等により、環境の改変を最小限にするよう努めることとしている。

環境との調和への配慮として、整備区域内の法面等に生育する希少種の植物は近傍の類似環境へ移植する。また、移植が難しい希少種が生育する区域は現況保存とするなど、生態系に配慮した計画とする。

## 第9章 換地計画の概要

上段：変更後

下段：変更前

### 第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区の農地は、一部の10a区画を除き、大半は未整備で不整形の小区画であるとともに、農道が接しておらず田越しに通作しているか、農道が狭小であり、農業用機械の通行に支障をきたしている。

また、水路は用排兼用の土水路で、断面が狭小で深さも浅いため、十分な排水機能が果たせず、農業機械の作業効率低下をきたすとともに、乾田化による高収益作物の導入が困難な状況にある。

このような状況を解消し、効率的な営農を展開するため、ほ場整備を行うとともに、担い手への利用権設定など利用集積の促進を図り生産性の高い農業を実現できるよう換地計画を樹立する必要がある。

### 第2節 換地区の設定

#### 1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積(ha)
〃	〃	9.5
小猪岡第1換地区	岩手県一関市厳美町地内	9.3
〃	〃	51.8
小猪岡第2換地区	岩手県一関市厳美町地内	79.3
〃	〃	18.6
小猪岡第3換地区	岩手県一関市厳美町地内	28.7
小猪岡第4換地区	岩手県一関市厳美町地内	13.2
—	—	—
計		93.1
		117.3

#### 2. 換地区を設定する理由

営農形態のまとまりが形成されている区域を4つの換地工区として設定する。

営農形態のまとまりが形成されている区域を3つの換地工区として設定する。

### 第3節 換地計画樹立の基本方針

上段：変更後  
下段：変更前

#### 1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地 積 の 基 準
小猪岡第1換地区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、国土調査法に基づく地積調査が実施されていることから、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。
小猪岡第2換地区	但し、上記の日から2ヶ月以内に測量士等資格者が測量した実測図に隣接所有者の承諾書を添付して申し出があった場合は、その申出地積とする。
小猪岡第3換地区	
小猪岡第4換地区	
—	

上段：変更後

下段：変更前

## 2. 用途別予定地積

(単位：ha) (第25表-3)

換 地区 名	(取得 予定者) 前 後	非農用地区域外に換地する土地										非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般 国 公 有 地	総 合 計		
		田	畑	山 林 ・ 原 野	その 他	通常事業施工地域に含 める土地（令第1条の （）書き）			計	本事業によって生ずる 土地改良施設用地			創 設 農 用 地	合 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地					合 計	国	県	市 町 村 他	合 計	
						土 地 改 良 施 設	そ の 他	小 計		改 良 区	そ の 他	小 計			宅 地	そ の 他	計		農 業 営 理 化 施 用	生 活 上 經 営 上 必 要 な 施 設 地	公 用 ・ 公 共 用 施 用 地	宅 地 等	計						
小猪岡第1換地地区	従前の土地	8.2	0.4	0.1	0.1	〃	〃	〃	8.8	〃	〃	〃	〃	8.8	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.0	9.5		
		8.0	0.3	0.3	0.0	—	—	—	8.6	—	—	—	—	8.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.7	9.3		
小猪岡第2換地地区	換地	〃	0.3	〃	〃	〃	〃	〃	7.6	〃	〃	〃	〃	7.6	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.9	9.5		
		7.3	0.5	—	0.0	—	—	—	7.8	0.0	—	0.0	—	7.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.4	9.2		
小猪岡第3換地地区	従前の土地	46.8	0.4	—	0.2	〃	〃	〃	47.4	〃	〃	〃	〃	47.4	〃	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	4.4	51.8		
		71.0	0.5	1.6	1.1	—	—	—	74.2	—	—	—	—	74.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.1	79.3		
小猪岡第4換地地区	換地	40.8	0.6	〃	—	〃	〃	〃	41.4	—	〃	—	〃	41.4	〃	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	10.4	51.8		
		65.0	0.8	—	0.1	—	—	—	65.9	1.0	—	1.0	—	66.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12.4	79.3		
	従前の土地	17.5	0.1	0.1	0.6	〃	〃	〃	18.3	〃	〃	〃	〃	18.3	〃	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	0.3	18.6		
		24.5	0.4	2.1	0.6	—	—	—	27.6	—	—	—	—	27.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.1	28.7		
	換地	14.6	—	〃	—	〃	〃	〃	14.6	0.2	〃	0.2	〃	14.8	〃	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	3.8	18.6		
		22.4	0.6	—	0.0	—	—	—	23.0	0.5	—	0.5	—	23.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.3	28.8		
小猪岡第4換地地区	従前の土地	12.4	〃	0.1	0.1	〃	〃	〃	12.6	〃	〃	〃	〃	12.6	〃	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	0.6	13.2		
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	換地	10.7	0.2	〃	0.0	〃	〃	〃	10.9	〃	〃	〃	〃	10.9	〃	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	2.3	13.2		
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
合計	従前の土地	84.9	0.9	0.3	1.0	〃	〃	〃	87.1	〃	〃	〃	〃	87.1	〃	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	6.0	93.1		
		103.5	1.2	4.0	1.7	—	—	—	110.4	—	—	—	—	110.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.9	117.3		
	換地	73.4	1.1	〃	0.0	〃	〃	〃	74.5	0.2	〃	0.2	〃	74.7	〃	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	18.4	93.1		
		94.7	1.9	—	0.1	—	—	—	96.7	1.5	—	1.5	—	98.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19.1	117.3		

### 3. 農用地集団化の方針

上段：変更後

下段：変更前

(第25表-4)

換地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
小猪岡第1換地区	集落別集団化、営農別集団化を図る	各人の従前の土地が最も密集した位置を基本とするが、育成すべき経営体の経営農用地を中心として農用地集積が図れるように配慮する。	1～2団地	固定畦畔
小猪岡第2換地区				
小猪岡第3換地区				
小猪岡第4換地区				
—				

### 4. 非農用地換地の方法 該当なし

(第25表-5)

区分 地区名	用 途	非農用地区域の位置の概略	面 積(m <sup>2</sup> )	換地の手法	換地取得予定者	そ の 他

#### 第4節 土地の評価及び清算の方法

上段：変更後

下段：変更前

##### 1. 評価の方法

###### 標準地批准方式

従前の土地の中から標準地（利用条件、自然条件ともに最良地）を選定し、標準地の土地価格 1 点 1 m<sup>2</sup>当たりの単価を定め、標準地と比較しながら各々の土地を減点評価する。

###### 項目別配点方式

従前の土地と換地をそれぞれ個別に、かつ、1 筆毎に、各評価項目について採点し、項目別に得られた採点結果を積み上げてその土地の点数とし、点数に対応する等位をつける。

##### 2. 清算の方法

###### 比例地積清算方式

事業による利益（増価額）を従前の土地の地積に比例して配分する方法

#### 第5節 換地計画樹立の年度計画

（第25表-6）

区分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予定年度	備考
〃 小猪岡 1 換地区	令和3～7年度 平成30～32年度	令和8、10年度 平成33年度	令和8、10年度 平成33年度	令和6～9年度 確定測量 平成32年度
〃 小猪岡 2 換地区				
〃 小猪岡 3 換地区				
小猪岡 4 換地区 —				

#### 第6節 換地処分の時期に関する特則

本地区については、換地区全部について区画整理が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項により準用する同法第54条第2項本文の規定ただし書きに基づき、換地処分を行うことができる。

上段：変更後  
下段：変更前

## 第10章 事業費の総額及び内訳

単位：千円

	事業費	資金計画			
		国費	県費	市町村費	受益者負担
〃	〃 純工事費	2,388,000 2,082,000	1,313,400 〃 1,145,100 (55%)	716,400 〃 624,600 (30%)	238,800 〃 208,200 (10%)
	〃 測量試験費	312,000 226,000	171,600 〃 124,300 (55%)	93,600 〃 67,800 (30%)	31,200 〃 22,600 (10%)
	〃 用地買収補償費	145,000 93,000	79,750 〃 51,150 (55%)	43,500 〃 27,900 (30%)	14,500 〃 9,300 (10%)
	〃 換地費	141,000 96,000	77,550 〃 52,800 (55%)	42,300 〃 28,800 (30%)	14,100 〃 9,600 (10%)
	〃 工事雑費				
	計	2,986,000 2,497,000	1,642,300 1,373,350	895,800 749,100	298,600 249,700
	〃 事務費				
総事業費		2,986,000 2,497,000	1,642,300 1,373,350	895,800 749,100	298,600 249,700
					149,300 124,850

## 第11章 効用

単位：千円

事業区分	項目 区分	年総効果(便益)額	年增加農業所得額	備考
〃	〃 作物生産効果	23,079 30,026	2,333 692	
	〃 営農経費節減効果	131,064 116,567	132,473 118,040	
	〃 維持管理費節減効果	△ 668 △ 665	559 659	
	〃 耕作放棄防止効果	38 11		
	〃 国産農作物安定供給効果	7,747 2,323		
	計	161,260 148,262	135,365 119,391	総費用総便益比 1.12 1.20

上段：変更後

下段：変更前

## 第12章 関連する事業

該当なし

(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容

## 第13章 現況・計画図面

1. 位置図 別途添付
2. 現況計画平面図 別途添付
3. 土地利用計画図 別途添付
4. 主要構造図 別途添付

農業競争力強化基盤整備事業

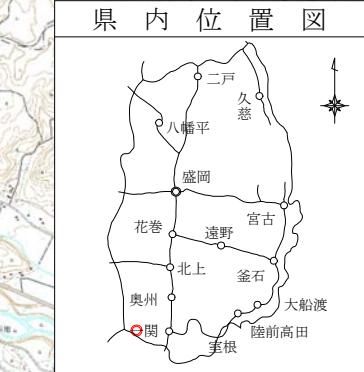
(農地整備事業【経営体育成型】)

小猪岡地区 位 置 図

S = 1/50,000

変更後

受益面積 A=74.5ha



凡 例

受 益
県 道

農業競争力強化基盤整備事業

(農地整備事業【経営体育成型】)

小猪岡地区 位 置 図

S = 1/50,000

変更前

受益面積 A=96.6ha

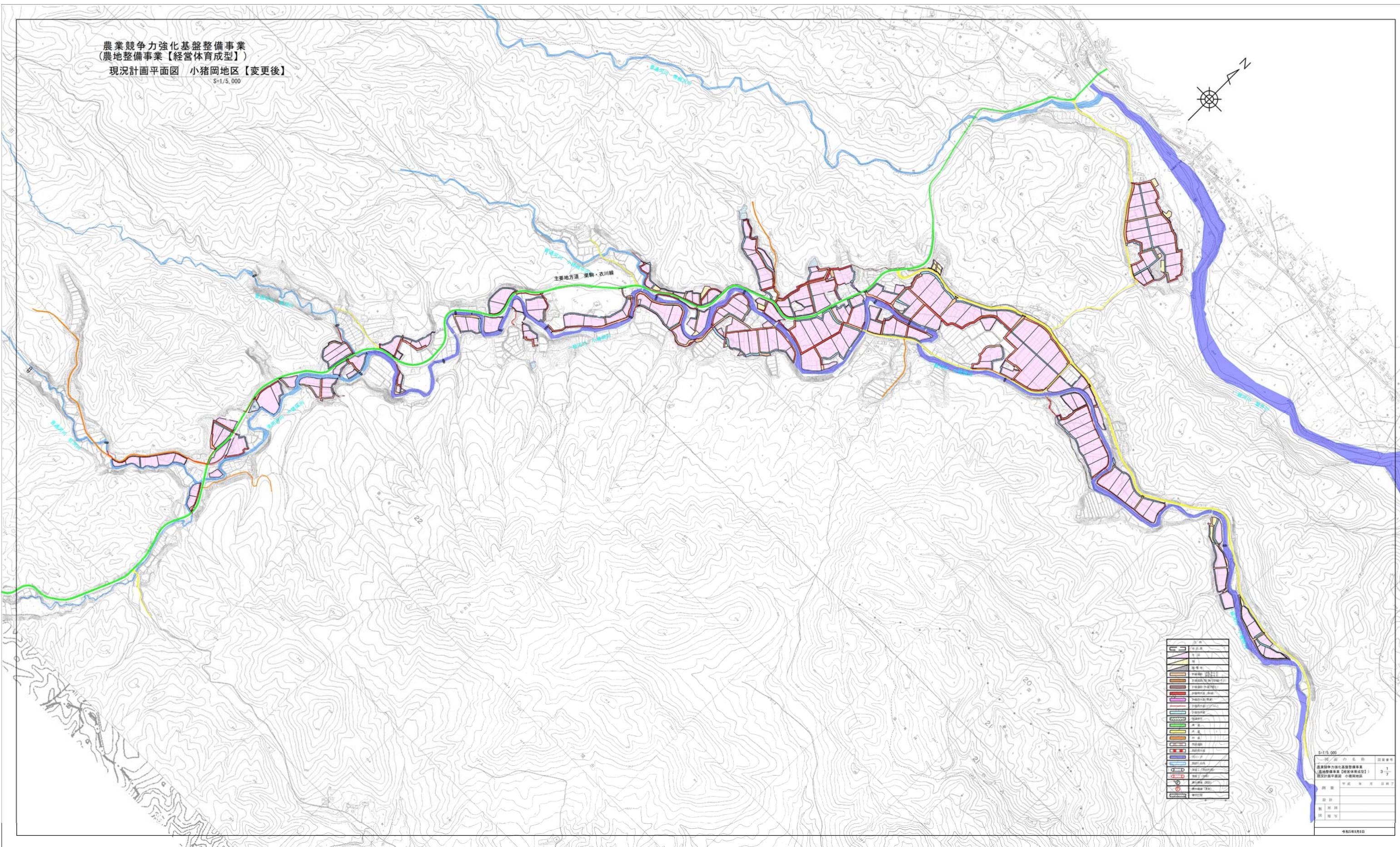


凡 例

	受 益
	県 道

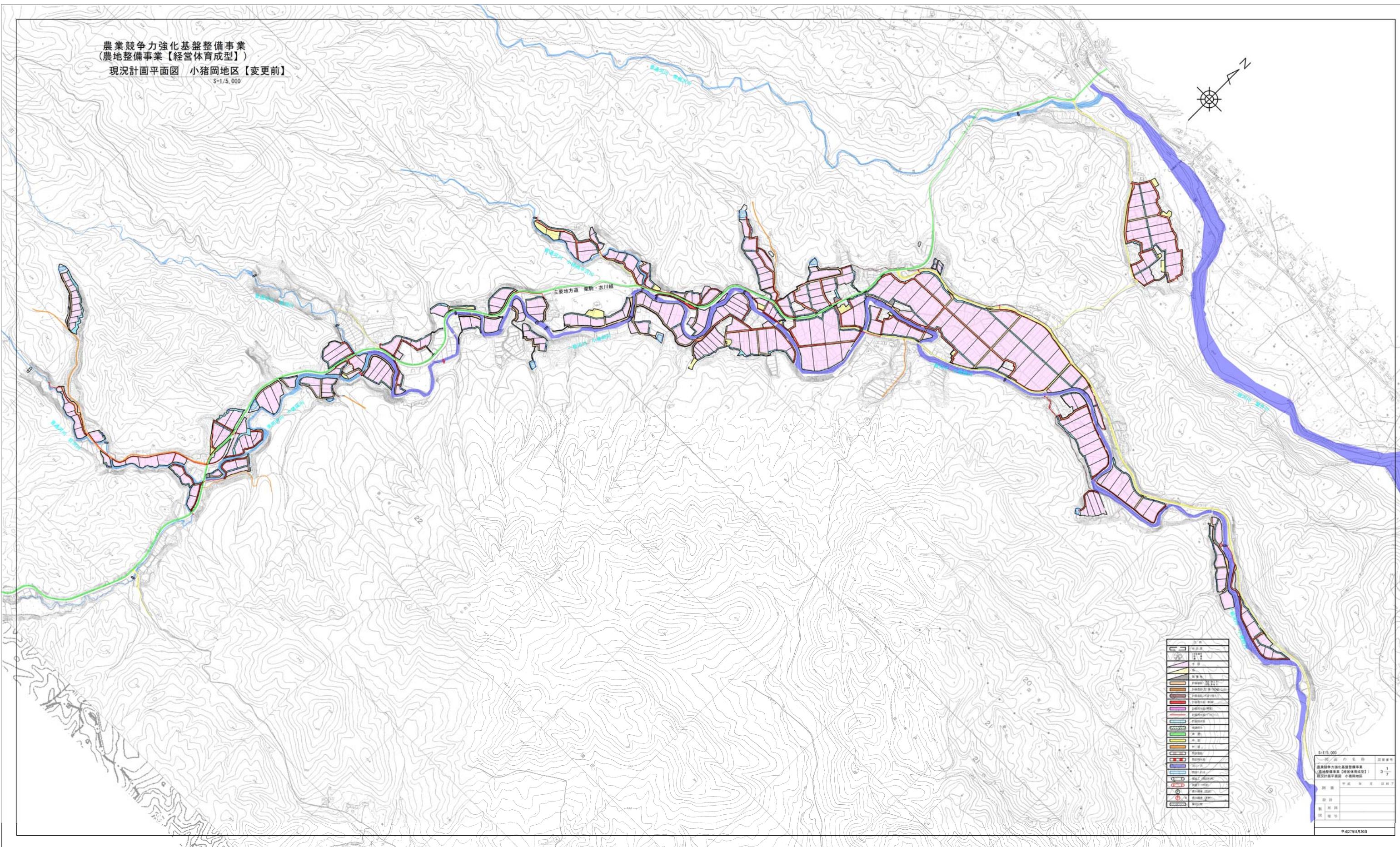
## 農業競争力強化基盤整備事業 (農地整備事業【経営体育成型】) 現況計画平面図 小猪岡地区【変更後】

S=1/5,00



## 農業競争力強化基盤整備事業 (農地整備事業【経営体育成型】)

S=1/5,00



# 附図1号 土地利用計画図 一関市

【変更後】



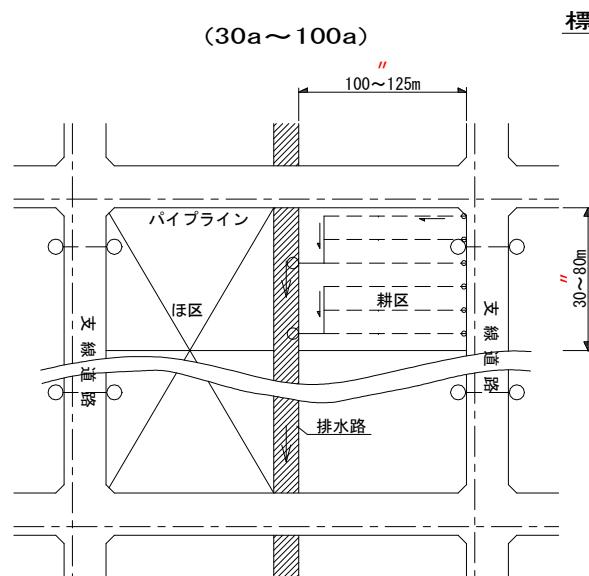
# 附図1号 土地利用計画図 一関市

【変更前】

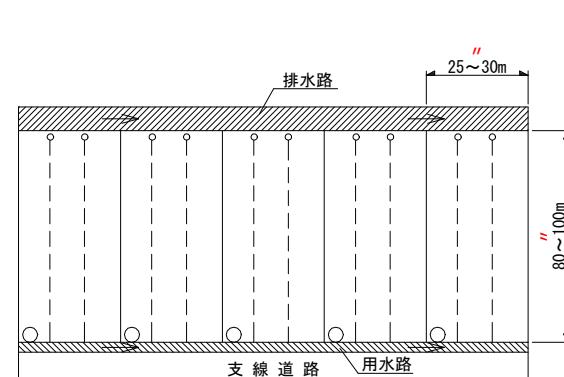


# 小猪岡地区標準図

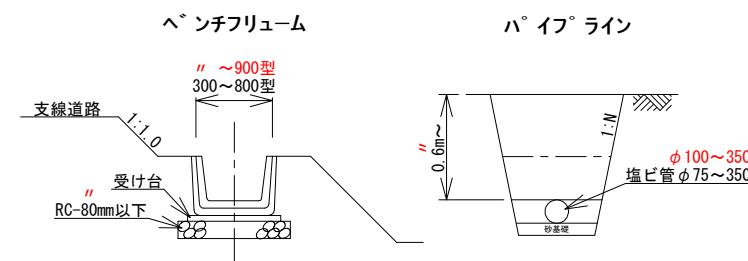
変更後  
変更前



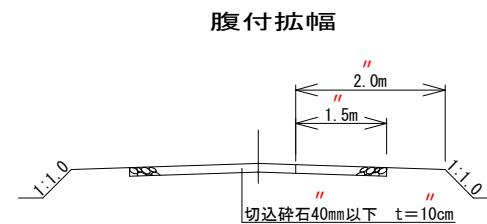
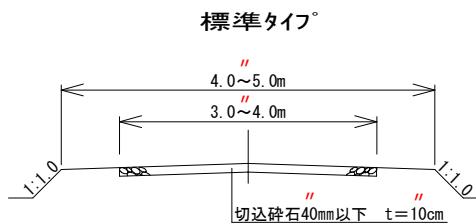
(20a～30a)



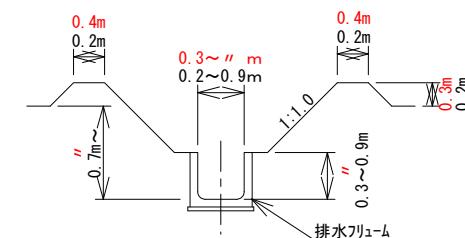
## 用水路工



## 支線道路



## 排水路



## 暗渠排水

